

平成28事業年度

# 事業報告書

日本中央競馬会

# I 業務の実施状況

## 1. 平成 28 事業年度の業務の実施状況

### (1) 競馬の実施等

#### ① 競馬の開催状況

・開催回数 36 回 ・開催日数 288 日

(内訳)

競馬場	開催回数	開催日数	競馬場	開催回数	開催日数
札幌競馬場	2 回	12 日	東京競馬場	5 回	45 日
函館競馬場	2 回	12 日	中京競馬場	4 回	26 日
福島競馬場	3 回	20 日	京都競馬場	5 回	45 日
新潟競馬場	3 回	26 日	阪神競馬場	5 回	41 日
中山競馬場	5 回	41 日	小倉競馬場	2 回	20 日

#### ② 発売金及び開催競馬場入場人員

発 売 金	2 兆 6,884 億 4,951 万 8,700 円
入場人員	630 万 662 名

#### ③ 国庫納付金

第 1 国庫納付金	2,680 億 3,902 万 9,810 円
第 2 国庫納付金	293 億 2,562 万 8,755 円

#### ④ 主な業績項目の数値

項 目		数 式	当該事業年度数値
競馬開催計画 達成率	開催回数	開催実施回数／開催計画回数	100%
	開催日数	開催実施日数／開催計画日数	100%
職員一人当り の効率	対売上収入	売得金額／職員数	1,529,030 千円
	対入場人員	入場人員数／職員数	3,594 人
対売上収益率		剰余金／売得金額	2.18%

## (2) 馬主、馬（競走馬）及び服色の登録

〔J R A 所属〕				〔その他〕※ i ii	
登録の種類	登録の数	取消の数	本事業年度末数	国際関係	地方関係
馬主の登録	147 名	125 名	2,382 名	2(6) 名	30 名
競走馬登録	5,445 頭	4,972 頭	8,262 頭	4(4) 頭	92 頭
服色の登録	112 件	119 件	1,897 件	2(6) 件	—

※ i 「国際関係」：国際交流競走に係わる登録の数（カッコ内は取消の数）

ii 「地方関係」：地方競馬との指定交流競走に係わる登録の数（取消の数は登録と同数）

## (3) 調教師及び騎手の免許

〔J R A 所属〕※ i ii				〔その他〕※ iii iv v		
免許の種類	免許の数	取消の数	本事業年度末数	短期	国際関係	地方関係
調教師の免許	199 名	2 名	197 名	—	4 名	83 名
騎手の免許	133 名	0 名	133 名	24 名	7 名	70 名

※ i 「免許の数」：3月1日付免許者数

ii 「取消の数」：免許期間を満了せずに事業年度途中で取り消した者の数

iii 「短期」：臨時試験による短期騎手免許者数（延人数）

iv 「国際関係」：国際交流競走・国際騎手招待競走に係わる免許者数（延人数）

v 「地方関係」：地方競馬との指定交流競走に係わる免許者数（延人数）

## (4) 競走馬の育成

日高育成牧場及び宮崎育成牧場において、市場購買馬（平成 27 年購買の 2 歳馬 74 頭及び平成 28 年購買の 1 歳馬 74 頭）の育成を行いました。

また、日高育成牧場及び宮崎育成牧場において、J R A 生産馬（当歳馬 5 頭、1 歳馬 8 頭及び 2 歳馬 7 頭）の育成を行いました。

## (5) 騎手の養成・訓練

競馬学校において騎手の養成を行い、6 名が卒業しました。平成 28 事業年度末現在の在校生数は 18 名となっています。

## (6) 日本中央競馬会法第 19 条第 2 項第 4 号に掲げる業務

上記（1）～（5）の業務のほか、競馬の健全な発展を図るため必要な業務を行いました。そのうち、特別振興資金を使用して、競馬振興事業を実施しました。

合計金額 17,010,950,160 円

**(7) 畜産振興事業**

特別振興資金を使用して、畜産振興事業を実施しました。

合計金額        2,567,101,421 円

**(8) 払戻金への上乗せ**

特別振興資金を使用して、1号給付金及び2号給付金を払戻金に上乗せしました。

1号給付金        2,662,825,980 円

2号給付金        2,723,073,960 円

合計金額        5,385,899,940 円

**(9) 競走馬生産振興業務への交付**

地方競馬全国協会が行う「競走馬生産振興業務」に対して、特別振興資金を使用して、交付金を交付しました。

合計金額        600,000,000 円

**(10) 認定競馬活性化計画補助業務への交付**

地方競馬全国協会が行う「認定競馬活性化計画補助業務」に対して、特別振興資金を使用して、交付金を交付しました。

合計金額        903,396,217 円

**(11) 借入金、財政投融资資金及び国庫補助金等による資金調達の状況**

該当ありません。

## 2. 前事業年度までにおける業務の実施状況

### (1) 競馬の実施等

#### ① 競馬の開催状況

事業年度	平成 25 年		平成 26 年		平成 27 年	
	開催回数	開催日数	開催回数	開催日数	開催回数	開催日数
札幌競馬場	—	—	2 回	14 日	2 回	12 日
函館競馬場	4 回	24 日	2 回	12 日	2 回	12 日
福島競馬場	3 回	22 日	4 回	24 日	3 回	20 日
新潟競馬場	3 回	24 日	3 回	28 日	3 回	24 日
中山競馬場	5 回	41 日	4 回	33 日	5 回	42 日
東京競馬場	5 回	45 日	5 回	46 日	5 回	46 日
中京競馬場	4 回	26 日	4 回	24 日	4 回	24 日
京都競馬場	5 回	44 日	5 回	47 日	5 回	47 日
阪神競馬場	5 回	42 日	5 回	40 日	5 回	41 日
小倉競馬場	2 回	20 日	2 回	20 日	2 回	20 日
合 計	36 回	288 日	36 回	288 日	36 回	288 日

#### ② 発売金及び開催競馬場入場人員

事業年度	発 売 金	入場人員
平成 25 年	2,411,831,610,500 円	6,092,403 名
平成 26 年	2,499,611,579,700 円	6,142,471 名
平成 27 年	2,588,691,862,100 円	6,317,073 名

#### ③ 国庫納付金

事業年度	第 1 国庫納付金	第 2 国庫納付金
平成 25 年	240,493,351,320 円	14,845,219,059 円
平成 26 年	249,362,772,940 円	19,833,650,359 円
平成 27 年	258,339,186,980 円	24,228,431,130 円

④ 主な業績項目の数値

項 目		平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
競馬開催計画 達成率	開催回数	100%	100%	100%
	開催日数	100%	100%	100%
職員一人当り の効率	対売上収入	1,341,290 千円	1,406,445 千円	1,473,697 千円
	対入場人員	3,398 人	3,464 人	3,603 人
対売上収益率		1.23%	1.59%	1.87%

(2) 馬主、馬（競走馬）及び服色の登録

① 馬主の登録

〔J R A 所属〕			〔その他〕※ i ii		
事業年度	登録の数	取消の数	当該事業年度末数	国際関係	地方関係
平成 25 年	177 名	137 名	2,296 名	6(8) 名	34 名
平成 26 年	160 名	121 名	2,335 名	3(3) 名	35 名
平成 27 年	158 名	133 名	2,360 名	5(3) 名	39 名

② 競走馬登録

〔J R A 所属〕			〔その他〕※ i ii		
事業年度	登録の数	取消の数	当該事業年度末数	国際関係	地方関係
平成 25 年	5,113 頭	5,169 頭	7,869 頭	9(9) 頭	65 頭
平成 26 年	4,896 頭	5,000 頭	7,765 頭	6(6) 頭	77 頭
平成 27 年	5,081 頭	5,057 頭	7,789 頭	7(7) 頭	103 頭

③ 服色の登録

〔J R A 所属〕			〔その他〕※ i	
事業年度	登録の数	取消の数	当該事業年度末数	国際関係
平成 25 年	114 件	135 件	1,910 件	6(8) 件
平成 26 年	117 件	117 件	1,910 件	3(3) 件
平成 27 年	132 件	138 件	1,904 件	5(3) 件

※ i 「国際関係」：国際交流競走に係わる登録の数（カッコ内は取消の数）

ii 「地方関係」：地方競馬との指定交流競走に係わる登録の数（取消の数は登録と同数）

### (3) 調教師及び騎手の免許

#### ① 調教師の免許

〔J R A所属〕※ i ii				〔その他〕※ iv v	
事業年度	免許の数	取消の数	当該事業年度末数	国際関係	地方関係
平成 25 年	212 名	3 名	209 名	8 名	58 名
平成 26 年	203 名	1 名	202 名	6 名	69 名
平成 27 年	200 名	1 名	199 名	7 名	87 名

#### ② 騎手の免許

〔J R A所属〕※ i ii				〔その他〕※ iii iv v		
事業年度	免許の数	取消の数	当該事業年度末数	短期	国際関係	地方関係
平成 25 年	126 名	2 名	124 名	20 名	14 名	49 名
平成 26 年	130 名	3 名	127 名	25 名	13 名	68 名
平成 27 年	130 名	2 名	128 名	14 名	9 名	91 名

- ※ i 「免許の数」 : 3月1日付免許者数  
 ii 「取消の数」 : 免許期間を満了せずに事業年度途中で取り消した者の数  
 iii 「短期」 : 臨時試験による短期騎手免許者数（延人数）  
 iv 「国際関係」 : 国際交流競走・国際騎手招待競走に係わる免許者数（延人数）  
 v 「地方関係」 : 地方競馬との指定交流競走に係わる免許者数（延人数）

### (4) 競走馬の育成

事業年度	育成頭数	(内訳)	当歳馬	1 歳馬	2 歳馬
平成 25 年	171(23)頭		7(7)頭	82(8)頭	82(8)頭
平成 26 年	169(22)頭		8(8)頭	81(7)頭	80(7)頭
平成 27 年	168(22)頭		8(8)頭	81(7)頭	79(7)頭

※ ( )内は育成した J R A生産馬の頭数（内数）

### (5) 騎手の養成・訓練

事業年度	競馬学校卒業者数	当該事業年度末在校生数
平成 25 年	4 名	19 名
平成 26 年	6 名	18 名
平成 27 年	4 名	18 名

(6) 日本中央競馬会法第19条第2項第4号に掲げる業務

- ① 平成25年、平成26年及び平成27年の各事業年度において、上記(1)～(5)の業務のほか、競馬の健全な発展を図るため必要な業務を実施しました。

② 競馬振興事業

事業年度	金 額
平成25年	2,829,231,919 円
平成26年	2,070,294,352 円
平成27年	4,894,213,773 円

(7) 畜産振興事業

事業年度	金 額
平成25年	1,481,095,047 円
平成26年	1,517,102,999 円
平成27年	2,921,391,621 円

(8) 払戻金への上乗せ

事業年度	金 額
平成25年	4,113,049,170 円
平成26年	4,373,451,550 円
平成27年	4,191,765,190 円

(内訳)

1号給付金	2号給付金
2,240,716,360 円	1,872,332,810 円
2,016,348,810 円	2,357,102,740 円
2,334,714,270 円	1,857,050,920 円

(9) 競走馬生産振興業務への交付

事業年度	金 額
平成25年	1,250,000,000 円
平成26年	1,050,000,000 円
平成27年	1,350,000,000 円



(10) 認定競馬活性化計画補助業務への交付

事業年度	金 額
平成 25 年	865,975,000 円
平成 26 年	999,289,190 円
平成 27 年	1,029,292,700 円

(11) 借入金、財政投融资資金及び国庫補助金等による資金調達の状況

平成 25 年、平成 26 年及び平成 27 年の各事業年度について、該当ありません。

## Ⅱ 日本中央競馬会の概要

### 1. 業務の内容

日本中央競馬会は、競馬の健全な発展を図って馬の改良増殖その他畜産の振興に寄与することを目的とし、その目的を達成するため次の業務を行うことが法定されています。

#### (1) 業務内容

- ① 中央競馬の実施
- ② 馬主、馬（競走馬）及び服色の登録
- ③ 調教師及び騎手の免許
- ④ 競走馬の育成
- ⑤ 騎手の養成・訓練
- ⑥ 競馬法第 21 条に基づき委託を受ける競馬の実施に関する事務
- ⑦ その他競馬の健全な発展を図るため必要な業務
- ⑧ 畜産振興事業等について助成することを業務とする法人に対し、当該助成に必要な資金の全部又は一部を交付する業務
- ⑨ 競馬法附則第 5 条第 1 項第 1 号及び第 2 号に規定する当該勝馬投票の的中者に対し、給付金を交付する業務
- ⑩ 地方競馬全国協会が行う競走馬生産振興業務に対し、交付金を交付する業務（平成 29 事業年度までの間）
- ⑪ 地方競馬全国協会が行う認定競馬活性化計画補助業務に対し、交付金を交付する業務（平成 29 事業年度までの間）

#### (2) 根拠規定

日本中央競馬会法（昭和 29 年 7 月 1 日法律第 205 号）第 19 条

競馬法（昭和 23 年 7 月 13 日法律第 158 号）附則第 5 条及び第 8 条

## 2. 各事務所の所在地

名 称	郵便番号	住 所	電話番号
本 部	106-8401	港区六本木 6 丁目 11 番 1 号	03-3591-5251
馬 事 公 苑	158-8523	世田谷区上用賀 2 丁目 1 番 1 号	03-3429-5101
競 馬 学 校	270-1431	白井市根 835 番地の 1	047-491-0333
競走馬総合研究所	320-0856	下野市柴 1400 番 4 号	0285-44-0090
日 高 育 成 牧 場	057-0171	北海道浦河郡浦河町字西舎 535 番地の 13	0146-28-1211
宮 崎 育 成 牧 場	880-0036	宮崎市花ヶ島町大原 2347 番地	0985-25-3448
栗東トレーニング ・センター	520-3085	栗東市御園 1028 番地	077-558-0101
美浦トレーニング ・センター	300-0493	茨城県稲敷郡美浦村大字美駒 2500 番地 の 2	029-885-2111
札 幌 競 馬 場	060-0016	札幌市中央区北 16 条西 16 丁目 1 番 1 号	011-726-0461
函 館 競 馬 場	042-8585	函館市駒場町 12 番 2 号	0138-53-1021
福 島 競 馬 場	960-8114	福島市松浪町 9 番 23 号	024-534-2121
新 潟 競 馬 場	950-3301	新潟市北区笹山 3490 番地	025-259-3141
中 山 競 馬 場	273-0037	船橋市古作 1 丁目 1 番 1 号	047-334-2222
東 京 競 馬 場	183-0024	府中市日吉町 1 番地の 1	042-363-3141
中 京 競 馬 場	470-1132	豊明市間米町敷田 1225 番地	052-623-2001
京 都 競 馬 場	612-8265	京都市伏見区葎島渡場島町 32 番地	075-631-3131
阪 神 競 馬 場	665-0053	宝塚市駒の町 1 番 1 号	0798-51-7151
小 倉 競 馬 場	802-0841	北九州市小倉南区北方 4 丁目 5 番 1 号	093-962-3236

## 3. 資本金の総額及び政府の出資額並びにこれらの増減

資本金の総額	政府の出資額	前期末比増減
4,924,129,000 円	全額政府出資	0

## 4. 役員の定数並びに各役員の氏名、役職、任期及び経歴等（平成 28 年末現在）

### （1）役員の定数

理事長 1 人、副理事長 1 人、理事 10 人以内及び監事 3 人以内

## (2) 各役員の氏名、役職、任期、経歴

役 職	氏 名	任 期	経 歴
理 事 長	後藤 正幸	平成 26 年 9 月 12 日～29 年 9 月 11 日	日本中央競馬会常務理事
副理事長	町田 勝弘	平成 28 年 3 月 1 日～29 年 2 月 28 日	(一社) J A 共済 総合研究所理事長
常務理事	木所 康夫	平成 28 年 3 月 1 日～29 年 2 月 28 日	日本中央競馬会理事
常務理事	井上 真	平成 28 年 3 月 1 日～29 年 2 月 28 日	日本中央競馬会理事
理 事	福井 紳弥	平成 27 年 3 月 1 日～29 年 2 月 28 日	日本中央競馬会 美浦トレーニングセンター場長
理 事	峯島 善弘	平成 27 年 3 月 1 日～29 年 2 月 28 日	日本中央競馬会 ウインズ事業運営部長
理 事	中村 嘉宏	平成 27 年 3 月 1 日～29 年 2 月 28 日	日本中央競馬会審判部長
理 事	谷崎 潤	平成 28 年 3 月 1 日～29 年 2 月 28 日	日本中央競馬会 栗東トレーニングセンター場長
理 事	木村 一人	平成 28 年 3 月 1 日～29 年 2 月 28 日	日本中央競馬会 総合企画部長
理 事	吉田 正義	平成 28 年 3 月 1 日～29 年 2 月 28 日	日本中央競馬会競走部長
理 事	山下 正行	平成 28 年 10 月 1 日～30 年 9 月 30 日	日本中央競馬会総括監
監 事	安齊 了	平成 27 年 10 月 1 日～29 年 9 月 30 日	日本中央競馬会馬事部長
監 事 (非常勤)	矢島 匡	平成 28 年 9 月 16 日～30 年 9 月 15 日	弁護士
監 事 (非常勤)	小谷実可子	平成 28 年 9 月 16 日～30 年 9 月 15 日	NPO 法人 日本ホスピタリティ協会理事

## (3) 役員の異動

- ① 2 月 28 日付けで井出道雄副理事長、小林善一郎常務理事、内藤邦男常務理事、横山清弘理事が退任し、翌 3 月 1 日付けで町田勝弘前（一社）J A 共済総合研究所理事長が副理事長に、木所康夫理事、井上真理事が常務理事に、谷崎潤前栗東トレーニング・センター場長、木村一人前総合企画部長、吉田正義前競走部長が理事に任命されました。
- ② 9 月 16 日付けで矢島匡監事、小谷実可子監事が再任されました。
- ③ 10 月 1 日付で山下正行前総括監が理事に任命されました。

## 5. 職員の定数及びその増減（平成 28 年末現在）

職員の定数	前期末比増減
1, 7 5 3 人	0 人

## 6. 日本中央競馬会の沿革

昭和 2 9 年	<p>○ 日本中央競馬会の設立（9 月 16 日）</p> <p>昭和 23 年に当時の「日本競馬会」の業務を継承したいわゆる「国営競馬」を引き継いで、競馬法（昭和 23 年 7 月 13 日法律第 158 号）により競馬を行う特殊法人として、日本中央競馬会法（昭和 29 年 7 月 1 日法律第 205 号）により設立</p>
平成 3 年	<p>○ 競馬法及び日本中央競馬会法の一部を改正する法律の施行</p> <p>① 馬主の登録制度並びに調教師及び騎手の免許制度の改善</p> <p>② 馬主登録等がより公正に行われるための審査会の設置</p> <p>③ 日本中央競馬会の剰余金を有効に活用するための特別振興資金及び特別給付資金の新設</p> <p>④ 競馬振興事業及び畜産振興事業の新設</p> <p>⑤ 単勝式及び複勝式の勝馬投票の的中者に対し、特別給付金を交付する特別給付業務の新設</p>
平成 1 7 年	<p>○ 競馬法の一部を改正する法律の施行</p> <p>① 中央競馬の実施に関する事務を政令で定めるところにより都道府県等に委託することができることを新たに規定</p> <p>② 勝馬投票券の購入等の制限の対象から成年である学生生徒が除外</p> <p>③ 単勝式及び複勝式の払戻率を改正（特別給付業務は平成 16 年末までの分をもって終了）</p> <p>○ 「行政改革の重要方針」の閣議決定（12 月 24 日）</p> <p>① 現行の組織形態（特殊法人）を継続</p> <p>② 競馬の公正・中立性の確保上支障のない範囲において主務大臣の関与・規制の緩和</p> <p>③ 競争入札への移行の促進、子会社等の統合、外部監査の導入等を図ること</p>
平成 1 9 年	<p>○ 競馬法及び日本中央競馬会法の一部を改正する法律の施行</p> <p>① 経営委員会の設置</p> <p>② 農林水産大臣の関与及び規制の緩和（規約についての関与の緩和、役員の任免等に関して大臣認可を不要とすること等）</p> <p>③ 1 号給付金及び 2 号給付金を交付する業務の新設</p>
平成 2 4 年	<p>○ 競馬法の一部を改正する法律の施行</p> <p>払戻金の算出方法の見直し</p>
平成 2 7 年	<p>○ 競馬法の一部を改正する法律の施行</p> <p>海外競馬の競走についての勝馬投票の実施</p>

7. 根拠法 日本中央競馬会法

8. 主務大臣 農林水産大臣

9. 経営委員会の概要（平成 28 年末現在）

経営委員会は、日本中央競馬会法第 8 条の 2 の規定に基づいて設置され、農林水産大臣が任命する委員 6 人及び理事長の 7 人により構成されています。

（１）各委員の氏名、任期及び職名等

氏 名	任 期	職 名 等
青山 佳世	平成 28 年 9 月 1 日～31 年 8 月 31 日	フリーアナウンサー
上田 廣一	平成 28 年 9 月 1 日～31 年 8 月 31 日	弁護士
小林 栄三 (委員長代理)	平成 28 年 9 月 1 日～31 年 8 月 31 日	伊藤忠商事（株）会長
近藤 和行	平成 28 年 9 月 1 日～31 年 8 月 31 日	（株）読売新聞東京本社編集委員
矢野 秀雄	平成 28 年 9 月 1 日～31 年 8 月 31 日	京都大学名誉教授
和田 紀夫 (委員長)	平成 28 年 9 月 1 日～31 年 8 月 31 日	日本電信電話（株）特別顧問

（２）経営委員会の開催概要

① 第 1 回経営委員会（1 月 27 日）

- ・ 平成 28 年度の組織見直しについて（案）の議決 ほか

② 第 2 回経営委員会（2 月 25 日）

- ・ 役員の任命について（案）の同意
- ・ 平成 28 年度予算実施計画（案）の議決 ほか

③ 第 3 回経営委員会（3 月 16 日）

- ・ 平成 27 年度決算（案）の議決
- ・ 日本中央競馬会の競馬の施行等に関する規約等の一部改正について（案）の議決 ほか

④ 第 4 回経営委員会（4 月 15 日）

- ・ 平成 28 事業年度 1 号給付金の交付（追加）について（案）の議決

- ・ 平成 27 年度経営目標の達成状況に係る自己評価について      ほか
- ⑤ 第 5 回経営委員会（5 月 19 日）
  - ・ 平成 27 年度経営目標の達成状況の評価
  - ・ 「職員の給与等の支給の基準」等の一部改正について（案）の議決
  - ・ 阿見場外勝馬投票券発売所（ライトウインズ阿見）に係る変更承認申請について（案）の議決      ほか
- ⑥ 第 6 回経営委員会（6 月 9 日）
  - ・ 凱旋門賞の発売について（案）の議決      ほか
- ⑦ 第 7 回経営委員会（7 月 20 日）
  - ・ 平成 29 年から 31 年における設備投資中期計画（案）の議決
  - ・ 海外競馬の競走の勝馬投票券の発売についての取扱い（案）の決定      ほか
- ⑧ 第 8 回経営委員会（9 月 8 日）
  - ・ 委員長の選任
  - ・ 委員長代理の選任
  - ・ 役員の任命について（案）の同意
  - ・ 海外競馬の競走の勝馬投票券の発売について（平成 28 年 10 月～12 月）（案）の議決
  - ・ 日本中央競馬会職員給与規程等の一部改正について（案）の議決      ほか
- ⑨ 第 9 回経営委員会（9 月 29 日～10 月 5 日）      ※書面表決
  - ・ ブリーダーズカップフィリー&メアターフの発売について（案）の議決
- ⑩ 第 10 回経営委員会（10 月 13 日）
  - ・ 平成 29 事業年度事業計画（案）（「開催計画」「重賞競走の改善」に係る部分）の議決      ほか
- ⑪ 第 11 回経営委員会（11 月 16 日）
  - ・ 平成 29 事業年度経営目標（案）の決定
  - ・ 平成 29 事業年度事業計画（案）の議決
  - ・ 平成 29 事業年度収支予算（案）の議決
  - ・ 日本中央競馬会競馬施行規約の一部改正について（案）の議決
  - ・ 平成 29 事業年度 1 号給付金及び 2 号給付金の交付について（案）の議決  
ほか
- ⑫ 第 12 回経営委員会（12 月 14 日）
  - ・ 平成 29 年度の組織見直しについて（案）の議決

- ・ 八幡場外勝馬投票券発売所の廃止について（案）の議決 ほか

### （３）委員の異動

９月１日付けで青山佳世氏、上田廣一氏、小林栄三氏、近藤和行氏、矢野秀雄氏、和田紀夫氏が委員に再任されました。

## １０．運営審議会の概要（平成 28 年末現在）

日本中央競馬会法第 16 条の規定により、日本中央競馬会の業務の執行に関する重要事項を調査審議するため、理事長が農林水産大臣の認可を受けて任命する者により構成される運営審議会が設置されています。

### （１）各委員の氏名、任期及び職名等

氏 名	任 期	職 名 等
大橋 茂樹	平成 27 年 9 月 16 日～29 年 9 月 15 日	元(株)テレビ東京建物 代表取締役社長
岡本 金彌	平成 27 年 9 月 16 日～29 年 9 月 15 日	元日本中央競馬会副理事長
川崎 麻児	平成 27 年 9 月 16 日～29 年 9 月 15 日	日本画家
木村 貢	平成 27 年 9 月 16 日～29 年 9 月 15 日	日高軽種馬農業協同組合 代表理事組合長
斎藤 由香	平成 27 年 9 月 16 日～29 年 9 月 15 日	エッセイスト
高岡 和弘	平成 27 年 9 月 16 日～29 年 9 月 15 日	元(株)アートよみうり代表取締役社長
武 豊	平成 27 年 9 月 16 日～29 年 9 月 15 日	日本騎手クラブ会長
橋田 満	平成 28 年 3 月 4 日～29 年 9 月 15 日	(一社)日本調教師会会長
松本 好雄	平成 27 年 9 月 16 日～29 年 9 月 15 日	中央競馬馬主相互会会長
森 保彦	平成 27 年 9 月 16 日～29 年 9 月 15 日	日本馬主協会連合会会長

### （２）運営審議会の開催概要

#### ① 第 1 回運営審議会（3 月 9 日）

- ・ 平成 27 事業年度決算（案）について
- ・ 日本中央競馬会定款の変更及び日本中央競馬会の競馬の施行等に関する規約等の改正（案）について

#### ② 第 2 回運営審議会（10 月 4 日） ※書面表決



- ・ 平成 29 事業年度事業計画（案）（「競馬番組の充実」に係る部分）について

③ 第 3 回運営審議会（11 月 10 日）

- ・ 平成 29 事業年度事業計画（案）について
- ・ 平成 29 事業年度収支予算（案）について
- ・ 日本中央競馬会競馬施行規約及び日本中央競馬会競馬施行規程の改正（案）について

### （３）委員の異動

2 月 12 日付けで二ノ宮敬宇委員が退任し、3 月 4 日付けで橋田満氏が新たに委員に任命されました。

## 1 1. 公正審査会議の概要（平成 28 年末現在）

日本中央競馬会法第 20 条の規定に基づき、馬主の登録・抹消、調教師及び騎手の免許・取消し、行政不服審査法による審査請求に対する裁決などについて意見を聴くため、理事長が学識経験者から公正審査委員を任命し、委員による公正審査会議を開催しました。

### （１）各委員の氏名、任期及び経歴

氏 名	任 期	職 名 等
石木 俊治	平成 27 年 9 月 7 日～29 年 9 月 6 日	帝京大学法学部教授
石原 葵	平成 27 年 9 月 7 日～29 年 9 月 6 日	元日本中央競馬会副理事長
頃安 健司	平成 27 年 9 月 7 日～29 年 9 月 6 日	元大阪高等検察庁検事長
酒井 啓子	平成 27 年 9 月 7 日～29 年 9 月 6 日	千葉大学法政経学部長
福沢 恵子	平成 27 年 9 月 7 日～29 年 9 月 6 日	(公財)日本女性学習財団理事
福地 献一	平成 27 年 9 月 7 日～29 年 9 月 6 日	朝日新聞社執行役員
宮本 和夫	平成 27 年 9 月 7 日～29 年 9 月 6 日	元警察大学校長

### （２）公正審査会議の開催概要

① 第1回公正審査会議（1月15日）

- ・ 馬主登録について（個人馬主の馬主登録取消し猶予1件）

② 第2回公正審査会議（2月10日）

- ・ 平成28年度調教師・騎手免許について
- ・ 馬主登録について（相続馬限定2件）
- ・ 馬主登録について（個人馬主から法人馬主への登録変更3件）
- ・ 公正審査会議運営規則の改正について
- ・ 公正審査会議了承事項の追加について

③ 第3回公正審査会議（3月18日）

- ・ 馬主登録について（相続馬限定1件）
- ・ 馬主登録について（法人馬主の代表者死亡に伴う限定的代表者の限定解除1件）
- ・ 馬主登録について（個人馬主の馬主登録取消し猶予1件）

④ 第4回公正審査会議（4月14日）

- ・ 第1回馬主登録に関する審査について（31件）
- ・ 馬主登録について（個人馬主から法人馬主への登録変更2件）

⑤ 第5回公正審査会議（5月20日）

- ・ 馬主登録について（法人馬主の限定的代表者変更1件）
- ・ 馬主登録について（個人馬主から法人馬主への登録変更4件）
- ・ 馬主登録について（組合馬主の組合員追加1件）

⑥ 第6回公正審査会議（6月10日）

- ・ 馬主登録について（相続馬限定1件）

⑦ 第7回公正審査会議（7月7日）

- ・ 第2回馬主登録に関する審査について（44件）
- ・ 馬主登録について（相続馬限定1件）

⑧ 書面審査（7月15日～27日）

- ・ 馬主登録について（相続馬限定1件）
- ・ 馬主登録について（法人馬主の代表者死亡時の限定的代表者変更1件）

⑨ 競走馬総合研究所及び競走馬理化学研究所視察（7月27日）

⑩ 第8回公正審査会議（9月9日）

- ・ 馬主登録について（個人馬主から法人馬主への登録変更4件）
- ・ 馬主登録について（法人馬主から個人馬主への登録変更1件）
- ・ 馬主登録について（組合馬主の組合員追加1件）

⑪ 第9回公正審査会議（10月14日）

- ・ 馬主登録について（個人馬主から法人馬主への登録変更2件）

⑫ 第10回公正審査会議（11月11日）

- ・ 第3回馬主登録に関する審査について（44件）
- ・ 馬主登録について（個人馬主から法人馬主への登録変更2件）

⑬ 第11回公正審査会議（12月7日）

- ・ 平成29年度調教師免許（新規）について
- ・ 馬主登録について（相続馬限定1件）
- ・ 馬主登録について（法人馬主の代表者変更2件）
- ・ 馬主登録について（法人馬主から個人馬主への登録変更1件）
- ・ 馬主登録について（個人馬主から法人馬主への登録変更5件）

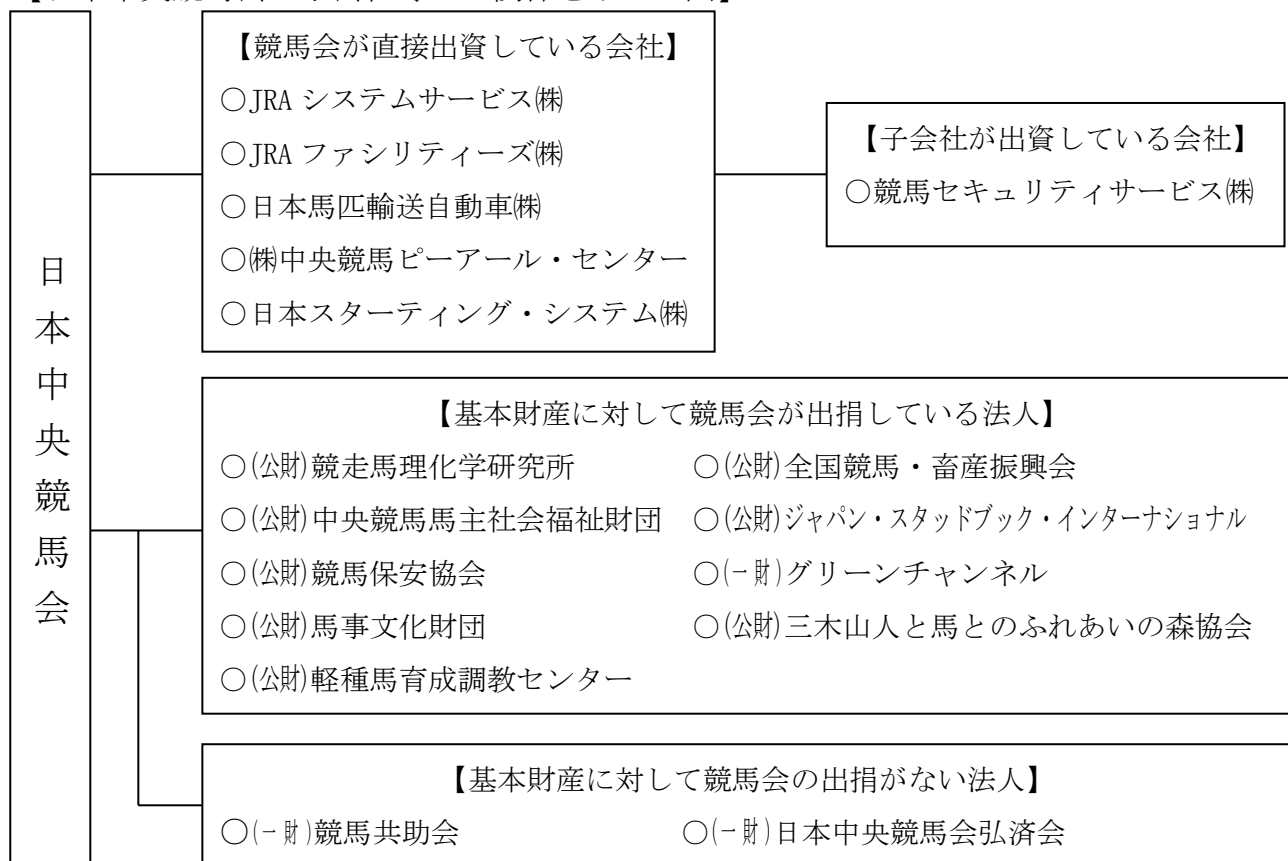
### Ⅲ 子会社等に関する事項（平成 28 年末現在）

#### 1. 子会社等の状況

日本中央競馬会法施行規則（昭和 29 年農林省令第 56 号）第 10 条第 3 号に定める子会社等の状況は以下のとおりです。

- (1) 子会社：JRA システムサービス(株)、JRA ファシリティーズ(株)、日本馬匹輸送自動車(株)、(株)中央競馬ピーアール・センター、日本スターティング・システム(株)、競馬セキュリティサービス(株)
- (2) 関連会社：なし
- (3) 関連一般社団法人等：(公財)競走馬理化学研究所、(公財)中央競馬馬主社会福祉財団、(公財)競馬保安協会、(公財)馬事文化財団、(公財)軽種馬育成調教センター、(公財)全国競馬・畜産振興会、(公財)ジャパン・スタッドブック・インターナショナル、(-財)グリーンチャンネル、(公財)三木山人と馬とのふれあいの森協会、(-財)競馬共助会、(-財)日本中央競馬会弘済会

#### 【日本中央競馬会と子会社等との関係を示した図】



2. 子会社の名称、住所、資本金、事業内容、役員数、代表者の氏名、従業員数、日本中央競馬会の所有する議決権の議決権の総数に対する割合及び日本中央競馬会との関係

子会社の名称・住所 代表者の氏名 資本金 競馬会の議決権所有割合	主な事業内容	売上高 当期純利益 利益剰余金 (H27決算額)	役員数 (うち常勤) 従業員数	競馬会との関係 ア 売上高中の競馬会との取引額 (H27実績) イ 競馬会との重要な取引の概要 ウ 競馬会役員の兼任状況
<b>JRAシステムサービス㈱</b> 【平成19年10月設立】 東京都江東区永代1-14-5 代表取締役社長 齊藤 茂 500,000千円 54.5% (子会社を含めた議決権の所有割合100%)	・トータリゼータシステム及び各種情報処理システム並びにそれらのシステムに関連する機器の運用及び保守整備 ・競馬に関する情報の提供 ・各種機器・車両及び競馬用諸設備の売買及び賃貸並びにそれらに付帯する物品の売買及び賃貸	(百万円) 18,738 550 6,344	(人) 13 (10) 508	ア 14,876百万円 イ ・トータリゼータシステム等の運用保守管理業務 ・トータリゼータシステム等のソフトウェア開発業務 ・競馬に関する情報の提供システムの運用業務 ・電子計算機等のリース業務 ウ なし
<b>JRAファシリティーズ㈱</b> 【平成19年10月設立】 東京都中央区八丁堀3-19-9 代表取締役社長 横山 清弘 300,000千円 94.9% (子会社を含めた議決権の所有割合100%)	・建物、馬場、造園及び各種設備の保守管理並びに関連資材の販売 ・施設等の清掃、環境衛生、防疫、廃棄物の管理及び警備 ・出走馬一覧表等各種刊行物の作製及び版下作成 ・飼糧、敷料及び添加物等の輸入並びに販売 ・損害保険代理業及び生命保険の募集等	18,106 552 8,997	11 (9) 429	ア 13,607百万円 イ ・諸施設の清掃業務 ・レーシングプログラムの作製 ・建物、設備、馬場等の設計管理業務 ・損害保険代理業務 ウ なし
<b>日本馬匹輸送自動車㈱</b> 【昭和22年8月設立】 東京都港区新橋6-20-11 代表取締役社長 金田 裕之 36,000千円 100%	・競走馬の輸送	1,855 31 1,138	4 (3) 85	ア 1,820百万円 イ ・競走馬輸送業務 ウ なし
<b>㈱中央競馬ピーアール・センター</b> 【昭和53年10月設立】 東京都港区新橋4-5-4 代表取締役社長 星野 年彦 20,000千円 64.3% (子会社を含めた議決権の所有割合100%)	・競馬及び馬文化等に関する図書及び印刷物の企画、編集、制作、出版及び販売 ・競馬及び馬文化等に関する映像業務、音声業務並びにその機器の運用、開発、販売、賃貸及び保守整備 ・競馬及び馬文化等に関する各種情報の収集及び提供	5,357 82 1,690	7 (5) 103	ア 2,598百万円 イ ・映像伝送ネットワークシステム運用保守管理業務 ・競馬実況中継放送代理業務 ウ なし
<b>日本スターティング・システム㈱</b> 【昭和40年9月設立】 東京都港区西新橋1-22-10 代表取締役社長 水野 豊香 10,000千円 100%	・発馬機及びその周辺機器等の運用並びに保守整備 ・発馬機及びその周辺機器の賃貸並びに販売 ・競走馬の発走に関する補助	1,357 83 492	5 (3) 69	ア 1,344百万円 イ ・発馬機作業及び機材輸送業務 ウ なし
<b>競馬セキュリティサービス㈱</b> 【平成4年11月設立】 東京都港区西新橋3-2-1 代表取締役社長 山川 雅典 100,000千円 0% (子会社を含めた議決権の所有割合100%)	・総合警備保障業務 ・労働者派遣業務	3,037 92 1,974	5 (2) 109	ア 2,734百万円 イ ・諸施設の常駐警備業務 ・競馬開催に係る警備業務、案内業務及び競馬開催補助業務 ウ なし

### 3. 関連一般社団法人等の名称、住所、基本財産、事業内容、役員数、代表者の氏名、職員数及び日本中央競馬会との関係

関連一般社団法人等の名称・住所 代表者の氏名 基本財産	主な事業内容	年間収入 (H27決算額)	役員数 (うち常勤) 従業員数	競馬会との関係 ア 年間収入中の競馬会支出額 (H27実績) イ 競馬会の業務との関係及び 競馬会との重要な取引の概要 ウ 競馬会役員の兼任状況
<b>(公財)競走馬理化学研究所</b> 【昭和40年8月設立】 栃木県宇都宮市鶴田町1731-2 理事長 益満 宏行 1, 029, 974千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>競走馬に施用される薬品及び薬剤の検査及び研究</li> <li>騎手に施用され、又は騎手が使用する薬品及び薬剤の検査及び研究</li> <li>馬の親子判定及び個体識別に係る検査及び研究</li> <li>農畜産物等に使用される薬品及び薬剤等の検査及び研究</li> </ul>	1, 070	(人) 6 (3) 40	ア 400百万円 イ 「日本中央競馬会競馬施行規約」に定める競走馬に係る薬物検出機関 ・競走馬薬物検査業務 ・薬物検査法の開発に関する研究委託業務 ウ なし
<b>(公財)中央競馬馬主社会福祉財団</b> 【昭和44年10月設立】 東京都港区虎ノ門4-1-21 理事長 佐藤 浩二 5, 510, 114千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉を目的とする事業に対する助成</li> <li>国又は地方公共団体が後援等を行っている公益事業に対する助成</li> <li>中央競馬関係者の福利厚生の上昇のための事業</li> </ul>	487	11 (1) 6	ア なし イ 競馬会が馬主に交付した競馬賞金の一部を使用してその事業を実施 ウ 理事（非常勤） 後藤 正幸（競馬会理事長） 理事（非常勤） 木所 康夫（競馬会常務理事）
<b>(公財)競馬保安協会</b> 【昭和46年5月設立】 東京都港区新橋4-5-4 理事長 和田 康敬 10, 000千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>競馬の公正確保のために必要な調査並びに情報及び資料の収集</li> <li>競馬の公正確保のために必要な研究</li> </ul>	1, 483	5 (4) 141	ア 1, 371百万円 イ 競馬の公正確保に必要な調査等を実施 ウ なし
<b>(公財)馬事文化財団</b> 【昭和51年4月設立】 神奈川県横浜市中区根岸台1-3 理事長 畑山 光伸 1, 739, 088千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>馬に関する文献、標本、写真、フィルム等の博物資料（以下「馬事博物資料」）の収集、保管及び展示</li> <li>馬事博物資料に関する印刷物の編集及び刊行</li> <li>根岸競馬記念公苑の馬の博物館その他施設の管理運営</li> </ul>	700	7 (2) 22	ア 278百万円 イ 根岸競馬記念公苑「馬の博物館」、東京競馬場「JRA競馬博物館」及び「Gate.J」の管理運営等を実施 ウ なし
<b>(公財)軽種馬育成調教センター</b> 【平成3年3月設立】 北海道浦河郡浦河町字西舎528 理事長 大平 俊明 1, 000, 000千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>軽種馬の競走能力の向上等に関する調査研究</li> <li>育成調教技術者の養成</li> <li>共同利用に供する育成調教施設の運営・管理</li> </ul>	722	6 (2) 41	ア 454百万円 イ 日高育成牧場の日高育成総合施設軽種馬育成調教場の管理運営等を実施 ウ なし
<b>(公財)全国競馬・畜産振興会</b> 【平成3年10月設立】 東京都港区新橋4-5-4 会長 小西 敏之 1, 000, 000千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>競馬の健全な発展を図るための事業に対する助成</li> <li>畜産の振興に資するための事業等に対する助成</li> </ul>	147	7 (2) 10	ア 63百万円 イ 競馬の健全な発展を図るための事業並びに畜産振興事業等に対する助成等を実施 ウ なし

関連一般社団法人等の名称・住所 代表者の氏名 基本財産	主な事業内容	年間収入 (H27決算額)	役員数 (うち常勤) 職員数	競馬会との関係 ア 年間収入中の競馬会支出額 (H27実績) イ 競馬会の業務との関係及び 競馬会との重要な取引の概要 ウ 競馬会役員の兼任状況
<b>(公財)ジャパン・スタッドブック・ インターナショナル</b> 【平成22年12月設立】 東京都港区新橋4-5-4 理事長 和田 雅雄 1, 0 4 0, 8 3 0 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外における競馬に関する情報の収集及び提供並びに我が国の競馬に関する情報の海外への提供</li> <li>・競馬の施行、競走馬の育成に関する海外の競馬関係者との技術の交流</li> <li>・軽種馬の登録及び登録証明書の発行</li> <li>・軽種馬の登録書その他関係図書の刊行</li> </ul>	(百万円)  8 4 9	(人)  6 (3) 3 3	ア 4 5 5 百万円 イ 競馬会が必要とする海外における競馬に関する情報の収集・提供及び競馬会の行う馬の登録の基礎となる軽種馬の血統登録等を実施 ウ 監事（非常勤） 谷崎 潤（競馬会理事）
<b>(一財)グリーンチャンネル</b> 【平成5年9月設立】 東京都江東区永代1-14-5 理事長 田村 正明 1, 0 0 0, 0 0 0 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競馬及び農林水産業に関する通信衛星を利用した放送業務</li> <li>・競馬、馬事及び畜産に関する番組の制作及びその支援</li> </ul>	3, 5 6 4	8 (3) 2 3	ア 4 百万円 イ 通信衛星を利用した中央競馬関連の映像情報に関する番組制作、配信等を実施 ウ なし
<b>(公財)三木山人と馬とのふれあいの森協会</b> 【平成6年6月設立】 兵庫県三木市別所町高木 三木ホースランドパーク 理事長 増田 純一 2 0 0, 0 0 0 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野外、体験活動等による交流事業の実施</li> <li>・馬事に関する普及啓発</li> <li>・乗馬施設等馬事に関する施設の整備及び維持管理</li> </ul>	5 3 1	8 (3) 2 0	ア 2 6 0 百万円 イ 兵庫県三木市における乗馬施設等馬事に関する施設の管理運営等を実施 ウ なし
<b>(一財)競馬共助会</b> 【昭和23年9月設立】 東京都府中市日吉町1-1 会 長 小林 善一郎 1, 5 0 0, 0 0 0 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厩舎関係者等に対する福利厚生に関する事業</li> <li>・診療所及び厚生会館の運営</li> <li>・競馬愛好者の利便に資するための厚生施設の管理・運営</li> <li>・競馬文化発展に資する事業</li> </ul>	3, 3 0 5	7 (3) 8 4	ア 6 2 6 百万円 イ 中央競馬厩舎関係者の福利厚生団体 ウ 理事（非常勤） 谷崎 潤（競馬会理事）
<b>(一財)日本中央競馬会弘済会</b> 【昭和39年12月設立】 東京都港区六本木6-11-1 会 長 鈴木 良治 1, 6 0 0, 0 0 0 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畜産に関する調査研究及び資料の収集</li> <li>・職員の福利厚生に関する事業</li> </ul>	1 7 4	7 (1) 8	ア 0. 2 百万円 イ 競馬会職員の福利厚生団体 ウ なし

## IV 日本中央競馬会が対処すべき課題

### 1. 閣議決定

#### (1) 「特殊法人の整理合理化について」(平成7年2月24日閣議決定)

地方競馬との交流競走の拡大を図るとともに、通信衛星による競馬映像情報の提供、地方競馬場における中央競馬の勝馬投票券の発売等をすすめることにより、ファンサービスの改善と地方競馬への支援に努める。また、勝馬投票券の発売・払戻の自動化等により勝馬投票業務効率化に努める。

#### (2) 「特殊法人等整理合理化計画」(平成13年12月19日閣議決定)

管理経費・競走事業費の削減など更なる事業の効率化を図る。その一環として、公正確保と両立させつつ、一般競争入札等の範囲を大幅に拡大するとともに、関係会社等に対する委託費等を削減する。

#### (3) 「行政改革の重要方針」(平成17年12月24日閣議決定)

##### 事業

##### 【助成金交付事業】

- 当事業の透明性向上のためにこれまで講じている外部有識者委員会による助成事業の選定・評価、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律の規定の準用等に加え、助成事業の評価結果を全面的に公表する仕組みを導入する。
- 国の畜産関係補助金との役割分担を明確化する。

##### 【中央競馬関係事業】

- 競争性のある契約のうち競馬の公正・中立性の確保上支障のない契約については、そのすべての契約を、平成22年までのできる限り早い時期に競争入札に移行させる。
- 子会社・関係会社の組織・事業の再編・統廃合を実施する。
- 入札結果・経営内容等の情報開示を一層進める。

##### 【その他】

- 外部監査を導入する。



## 組 織

- 組織運営について、一層の効率化を図るため、次の措置を講ずる。
  - ・ 競馬の公正・中立性の確保上支障のない範囲において主務大臣の関与・規制の緩和。
  - ・ 内部組織として学識経験者等で構成される中立性を有する機関の設置。
  - ・ 当該機関による定量的な経営目標の設定及び業績評価の実施。
  - ・ 当該経営目標の公表及び当該業績評価の結果の公表。
  - ・ 経営不調時における役員解任規定導入。

## 2. 「特殊法人に関する行政評価・監視結果に基づく勧告（日本中央競馬会）」

（平成 14 年 1 月 18 日総務大臣から農林水産大臣へ勧告）

支出の見直しについて

### （1）経費の節減等

- ア) 施設整備の抑制
- イ) 施設利用料の適正化
- ウ) 子会社等との契約の見直し
- エ) 窓口業務の自動化に伴う要員縮減の推進
- オ) 競走事業費の支出の抑制

### （2）ウインズの新設の抑制と運営の効率化

### （3）抽せん馬制度の見直し

## 3. 「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」の施行に伴う情報公開への適切な対応（平成 14 年 10 月 1 日法律施行）

この事業報告書は、日本中央競馬会法施行規則第 10 条の規定に基づき、記載しています。なお、日本中央競馬会の事業年度は、1 月 1 日から 12 月 31 日までとなっています。

# J R Aの事業活動について

(平成 28 年)

－ J R Aは、毎週走り続けます。－

(平成 28 事業年度事業報告書別冊)

## はじめに

J R Aでは、平成28事業年度についても、「お客様とともに」「夢と感動とともに」「信頼とともに」「社会とともに」「そして未来へ」の5項目で構成する「経営の基本方針」に沿った事業活動を行ってまいりました。

J R Aが開催した競馬の面では、お客様が参加しやすい開催日程の設定に取り組み、全国10か所の競馬場において、経営の基本目標の1つである、年間288日（36開催）の競馬を着実かつ円滑に実施することができました。こうした中、天皇賞（春）とジャパンカップを優勝して年度代表馬に輝いたキタサンブラックの活躍や、16年ぶりの女性新人騎手の誕生、武豊騎手のJ R A所属馬による通算4,000勝、熊沢騎手の障害200勝以上を達成した騎手による通算1,000勝など、多くの話題が競馬に馴染みのない方々も含めて注目を集めることとなりました。

さらに、海外競馬の面では、モーリスが香港でG1を2勝するなど、日本馬がドバイ、香港、フランス、アメリカ、韓国で10勝し、世界に日本馬のレベルの高さを証明いたしました。また、日本ダービー馬マカヒキが参戦して大きな注目を集めた凱旋門賞において、初の海外競馬の勝馬投票券の発売を実施するなど、農林水産大臣が指定する競走のうち、日本馬が出走した合計7競走で海外競馬の勝馬投票券の発売を行い、国際的なスポーツエンターテインメントとしての競馬の魅力を日本国内に発信いたしました。

このような世界レベルかつ個性溢れる競走馬や騎手による充実した競馬の提供及び平成28年のJ R Aの事業活動について事業計画の項目毎に取りまとめた本報告書に記載の様々な施策により、お客様に「レースの迫力」「馬の美しさ」「推理の楽しみ」が一体となった競馬の魅力を実感していただき、「夢と感動」をお届けできたものと考えております。

その結果、経営の基本目標の1つである、中央競馬のお客様総数（海外競馬を含む）は、延べ1億7,190万人余（対前年比103.6%）と、3年連続で前年を上回る結果となりました。また、勝馬投票券の発売金（海外競馬を含む）も、2兆6,884億円余（対前年比：103.9%）と、5年連続で前年実績を上回りました。

J R Aは、平成28年の事業活動の結果を的確にフィードバックし、国際的なスポーツエンターテインメントとしての競馬の更なる魅力向上、お客様の利便性向上、事業運営の効率化・合理化、社会貢献活動等に役立ててまいります。

## <目次>

### ○ 平成28事業年度事業計画に掲げた項目等の実施概況

1. 競馬番組の充実	P 3
2. 質の高い競走の提供	P 4
3. 競馬の公正確保の徹底	P 8
4. 販売促進施策の推進	P 10
5. 競馬への参加促進施策の推進	P 14
6. 競馬の国際的な発展への取組み	P 20
7. 施設の改善及び整備	P 22
8. コンピュータ・システムに関する取組み	P 23
9. 事業構造の改善に関する取組み	P 24
10. 社会的責任の遂行	P 25
11. 社会貢献活動への取組み	P 26

## 平成28事業年度事業計画に掲げた項目等の実施概況

### 1. 競馬番組の充実

項目	内訳	具体的な内容
(1) 開催計画		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 288日(36開催)の競馬開催を全国10か所の競馬場において実施</li> <li>○ より多くのお客様にご参加いただくため、土・日曜日以外の祝日における競馬開催を1月11日(祝・月)、3月21日(休・月)、10月10日(祝・月)、12月23日(祝・金)に設定</li> <li>○ 祝日開催の配置等に伴い、また、年間を通じた円滑な出走に資する観点から、第3場の開催日数及び配置を見直した</li> </ul>
(2) 重賞競走の改善		
	① 牝馬重賞競走の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「秋華賞(GⅠ)」の興趣を高めるため、「紫苑ステークス(秋華賞トライアル)」を重賞競走に格上げ。なお、このことに伴い、同競走における秋華賞への優先出走を認める着順について、第2着以内から第3着以内に変更</li> <li>○ 「ヴィクトリアマイル(GⅠ)」の出走馬の充実を図るため、「阪神牝馬ステークス(GⅡ)」の競走距離及び「福島牝馬ステークス(GⅢ)」の負担重量を変更</li> <li>○ 年間を通じた牝馬の出走機会を拡大する観点から、「農林水産省賞典愛知杯(GⅢ)」の実施時期及び「京都牝馬ステークス(GⅢ)」の実施時期・競走距離を変更</li> </ul>
	② 重賞競走の格付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「サウジアラビアロイヤルカップ」をGⅢとして新たに格付け</li> <li>○ 「ターコイズステークス」について、格付け表記を「新設重賞」から「重賞」に変更</li> </ul>
	③ 3日開催の施行時期の変更に伴い実施日を変更する競走	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3日開催の施行時期の変更に伴い、一部重賞競走の実施日を変更</li> </ul>
(3) オープン競走における出走できる馬とならなかった場合の優先出走の取扱いの改善		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 出馬投票の結果「出走できる馬とならなかった場合」に付与される優先出走できる権利(以下「次走優先権」という。)の取扱いについて、お客様へのより適切な情報提供に資する観点から、重賞競走では次走優先権を付与しない等の改善を実施</li> </ul>
(4) 見習騎手の負担重量の減量期間延長		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 若手騎手の騎乗環境を整え、騎手の育成を図るため、見習騎手の負担重量の減量期間を「騎手免許取得後5年未満」に延長</li> </ul>
(5) 地方競馬との交流競走		
	① 地方競馬指定交流競走	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地方競馬において、ダート交流重賞競走として40競走(11主催者)が実施され、全ての競走に延べ193頭の中央競馬所属馬が出走し、38競走で優勝</li> <li>○ 地方競馬における条件交流競走は149競走(13</li> </ul>

		<p>主催者）が実施され、延べ８３３頭の中央競馬所属馬が出走</p> <p>○ 本賞金総額の５０％（九州産馬限定競走は９０％）を上限として交流競走協力金を交付</p>
② 認定競走		<p>○ 地方競馬において、１８１競走（１１主催者）の認定競走を実施</p> <p>○ なお、平成２８年も全ての主催者において、上位に格付けされた競走を認定競走として実施（北海道においてのみ従来の新馬・未勝利クラスの認定競走も併せて実施）</p> <p>○ 本賞金総額の９０％を上限として認定競走協力金を交付</p>
③ 中央競馬指定交流競走		<p>○ ダート重賞１５競走を中央競馬指定交流競走として実施し、そのうち３競走に地方競馬所属馬が延べ７頭出走</p> <p>○ 芝のＧＩ競走とそのステップ競走を中央競馬指定交流競走として実施。ステップ競走には２競走に地方競馬所属馬が延べ２頭出走（ＧＩ競走に出走した地方競馬所属馬はなし）</p>
④ 中央競馬特別指定交流競走		<p>○ 認定競走及び指定競走の優勝馬が出走できる中央競馬特別指定交流競走には、２歳では１５競走に延べ３１頭、３歳では４７競走に延べ５２頭の地方競馬所属馬が出走</p>

## ２．質の高い競走の提供

項目	内訳	具体的な内容
(１) 競走馬の資質・能力の向上等への取組み		<p>競走馬総合研究所をはじめとする関係部署においては、平成２８事業年度の研究計画に沿って競走馬の保健衛生、調教管理、生産及び育成等に関する研究を実施。また、その成果を、診療・防疫体制の整備、事故防止及び生産育成基盤の強化等に活用するとともに、競走馬総合研究所のホームページや刊行物、講演会等を通じて、馬及び競馬の科学情報として発信</p>
	① 競走馬の資質・能力の向上	
	i) 競走馬の育成を通じた取組み	<p>○ 日高育成牧場及び宮崎育成牧場において、サラブレッド市場購買馬（平成２７年購買の２歳馬７４頭及び平成２８年購買の１歳馬７４頭）を用いて、育成に関する研究を実施</p> <p>また、日高育成牧場に繋養しているサラブレッド繁殖牝馬及びその産駒（生産馬：当歳５頭・１歳８頭・２歳７頭）（※２歳馬７頭のうち２頭は宮崎育成牧場に繋養）を用いて、生産・育成に関する研究を実施</p> <p>○ 育成に供した２歳馬は、４月に中山競馬場においてＪＲＡブリーズアップセールを開催して生産馬７頭を</p>

	<p>含む72頭を売却、5月に札幌競馬場において北海道トレーニングセールを開催して6頭を売却</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実践的な技術指導、講習会、ホームページ等を通じ、生産育成研究及び技術開発によって得られた成果を普及・啓発</li> </ul>
ii) 生産育成基盤の強化	<p>【国内生産基盤の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生産育成技術の向上を目的として、(公社)日本軽種馬協会が実施する軽種馬経営高度化指導研修事業に協力</li> <li>○ 資質に優れた種牡馬及び繁殖牝馬群の導入や繁殖牝馬流通活性化を目的として、(公社)日本軽種馬協会が実施する優良繁殖馬導入促進事業に協力</li> <li>○ 諸団体が実施する国内セリ市場における流通促進及び東南アジア諸国への内国産馬の流通促進に協力</li> <li>○ 生産者賞の審査・交付認定を実施</li> <li>○ セリ市場における後膝関節部を含むレポジトリ提出に向けた周知・広報を実施</li> </ul> <p>【生産育成に関わる人材養成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生産育成調教技術者の養成を目的として、(公財)軽種馬育成調教センターが実施する育成調教技術者養成事業、(公社)日本軽種馬協会が実施する軽種馬生産育成技術者養成推進事業に助成</li> <li>○ 生産育成牧場の若手就業者不足の対応策として、(公社)競走馬育成協会が実施する生産育成牧場への就業者参入促進事業に協力</li> </ul>
② 競走馬の保健衛生対策を通じた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 競走馬総合研究所を中心として、スポーツ科学・スポーツ障害・先端獣医療・生産基盤強化・伝染病対策等に関する研究を引き続き実施。また、その結果を普及・啓発するため、学会や講演会等で研究成果を発表</li> <li>○ バイオテクノロジー等の先端技術を応用した研究としては、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門との共同研究により、「馬感染症の新規診断法開発のための分子生物学的研究(平成27年～29年)」を実施</li> <li>○ 軽種馬生産地における疾病等の諸問題を解決する調査研究としては、「冬季昼夜放牧の生理学的検証ならびに育成期に発生する各種疾患に関する調査研究(平成24～28年)」を実施</li> <li>○ 外部研究機関への委託により、「運動刺激によるサラブレッド骨格筋における毛細血管発達の評価方法の確立(平成26～28年)」や「馬インフルエンザウイルスと特異的に結合する糖鎖材料の合成(平成27～29年)」等の研究を実施</li> <li>○ 競馬サークルへの研究成果の普及及び学術交流を図るため、11月28日に「第58回競走馬に関する調査研究発表会」を開催</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生産地への研究成果の普及、生産者の研究ニーズの把握を目的とし、7月14日に「第44回生産地における軽種馬の疾病に関するシンポジウム」を開催</li> </ul>
③ 競走馬の事故防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 競走馬の事故（骨折等）を防止し、充実した競馬の実施に資するため、調教施設及び馬場の保全管理を実施</li> <li>○ 競走馬の事故発生状況を随時調査・分析するとともに、事故防止に対する意識の向上を目的として、厩舎関係者を対象とする各種研修会を開催</li> <li>○ 事故防止に関する調査研究としては、競走馬総合研究所を中心に「屈腱炎の治癒評価法に関する調査研究」、「競走中・調教中に発症する重篤な疾患における薬物使用実態および遺伝学的背景の調査研究」及び「馬場柵等付帯施設の安全性向上に関する研究」を実施</li> </ul>
④ 防疫体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「日本中央競馬会競走馬伝染病防あつ規程」に基づく入厩検疫、定期検査及び予防接種を実施するとともに、環境衛生対策、疫学調査、ワクチンの備蓄等の防疫措置を実施</li> <li>○ 家畜伝染病予防法で定められた「飼養衛生管理基準（馬）」に基づいて、本会施設内の衛生管理を実施</li> <li>○ 所轄官庁の指導に基づき、国際交流競走に参加する外国馬及び海外遠征する日本馬の輸出入検疫に付帯する業務を実施</li> <li>○ 国際交流競走へ円滑に出走できるよう家畜衛生条件の締結や遠征環境の整備に向けて、馬の移動状況や伝染病の疫学調査についての情報を所轄官庁と共有</li> <li>○ 馬伝染性子宮炎の国内清浄化の達成を受け、（公社）日本軽種馬協会が実施する「馬伝染性子宮炎自衛防疫事業」を通じ、清浄化後の疫学監視を推進</li> <li>○ 生産育成地における疾病蔓延防止及び本会施設内への疾病侵入阻止を目的とし、（公社）中央畜産会が実施する「馬伝染性疾病防疫推進対策事業」を通じ、本会施設への入厩前の育成馬や繁殖牝馬、乗用馬等を対象とする予防接種（馬インフルエンザ、日本脳炎、破傷風、馬鼻肺炎）を推進</li> <li>○ 「生産地における軽種馬の疾病に関するシンポジウム」や両トレーニング・センター周辺牧場との防疫協議会を開催し、防疫体制を強化</li> <li>○ 国内の防疫体制の強化を目的とし、競走馬総合研究所において、馬の病原性ウイルス・細菌に対する各種消毒薬の不活化効果に関する調査研究、ウマコロナウイルス及びロドコッカス・エキイのLAMP法による診断技術の開発、両トレーニング・センターの馬鼻肺炎不活化及び生ワクチン接種馬における血清抗体保有状況調査を実施</li> <li>○ 国内外の伝染病情報や飼養管理に関する情報を、軽</li> </ul>



		種馬防疫協議会へ提供するとともに、「馬飼養衛生管理特別対策事業」の講習会等を通じて関係者に馬防疫思想を普及
<b>(2) 馬主活動の促進</b>		
	① 新規馬主開拓	○ 馬主活動を各種媒体でPRするとともに富裕層向け競馬観戦会を実施
	② 既存馬主の活動促進	○ GI開催競馬場において出走記念昼食会を実施 ○ 50年以上馬主登録を継続している馬主に対し、永年馬主表彰を実施 ○ 新規馬主競馬観戦会及びトレーニング・センター見学会を実施
<b>(3) 厩舎関係者に関わるシステム（厩舎関連システム）の改善</b>		
	① 定期貸付馬房について	○ 各調教師からの貸付馬房数の申請受付と成績査定を行ったうえ、3月1日付で栗東トレーニング・センターでは2,036馬房を、美浦トレーニング・センターでは1,992馬房をそれぞれ貸付け
	② その他	○ 事業年度途中の調教師の勇退等に伴い、トレーニング・センターにおける定期貸付け及び臨時貸付けを適正に実施 ○ 調教助手・厩務員（調教厩務員を含む）の承認等に伴う、平成28年末の状況 a) 調教助手 平成27年末 1,692名 新規に承認した者 57名 (栗東29名、美浦28名) 平成28年末現在 1,697名 (栗東954名、美浦743名) b) 厩務員 平成27年末 741名 新規に採用された者 26名 (栗東0名、美浦26名) 平成28年末現在 713名 (栗東259名、美浦454名) ○ 厩舎制度の改善に向けた（一社）日本調教師会の取組みを支援
<b>(4) 厩舎関係者の養成等について</b>		
	① 競馬学校騎手課程生徒の養成	○ 騎手課程においては、平成24・25事業年度入学の第32期生6名が卒業 【平成28年末現在の在校生徒状況】 1年生 8名（35期生8名）（基礎課程） 2年生 5名（34期生5名）（8月29日以前は基礎課程、以降は実践課程） 3年生 5名（33期生5名）（実践課程）
	② 競馬学校厩務員課程生徒の養成	○ 厩務員課程においては、24名が卒業
	③ 厩舎関係者の研修	○ 新規調教師及び騎手に対し、免許取得に際し必要な知識の習得を求めるための研修を実施

### 3. 競馬の公正確保の徹底

項目	内訳	具体的な内容
(1) 公正な競馬の安全・円滑な施行		
	① お客様に信頼される競馬の提供	
	i) 公正確保の維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「公正確保」は、競馬に対する社会的信用を維持するうえでの根幹となるものであることから、公正確保上対応が必要な事案に関して調査等を実施するとともに、厩舎関係者に対して適宜指導を実施</li> <li>○ 平成28事業年度については、短期免許外国人騎手による禁止薬物検出事案が1件発生したため、調査のうえ裁定委員会を開催し当該騎手に対して騎乗停止1ヶ月の処分を実施</li> </ul>
	ii) 騎手・調教師に対する制裁	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 競馬開催における騎手に対する制裁は、戒告・過怠金が805件（うち地方競馬における戒告が9件）、騎乗停止が27件（うち地方競馬における騎乗停止が1件）。中央競馬の開催における騎乗停止処分の内訳は、進路の取り方によるものが24件（第1着から第3着までに入線した馬に係るものが15件、その他が9件）</li> <li>○ 競馬開催における調教師に対する制裁は、戒告・過怠金が62件（うち地方競馬における戒告が4件）</li> </ul>
	iii) 研修会等の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 競馬の公正、安全及び円滑な実施に資するため、制裁点数制による騎手の再教育（延べ24名に対して実施）、若手騎手研修を実施</li> <li>○ 警察から講師を招き、騎手に対し違法薬物・賭博に関する研修を実施</li> </ul>
	iv) 騎手ドーピング検査の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 騎手の健康保護及び競走の安全を図るため、「騎手の薬物使用に関する検査実施要綱」に基づき、騎手に対するドーピング検査を実施</li> <li>○ 平成28事業年度より、パリ協約第27条「騎乗者に対しての健康保護のための競馬統括機関へのガイドライン」を批准すべく、対象薬物を追加して制度を充実</li> <li>○ 2月に発生した短期免許外国人騎手による禁止薬物検出事案を受け、全騎手に対し薬物検査を実施</li> </ul>
	② 審判関係業務の充実及び改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ お客様の競走ルールを理解を醸成するため、失格・降着の判断基準及び審議の公表に関する解説映像を開催日に放映し、ホームページ、レーシングプログラムにも競走ルール解説を掲載。また、審議等があった場合にホームページに掲載する裁決レポートについて、よりお客様にわかりやすい説明となるよう内容を充実</li> <li>○ 国際協調に関しては、騎手に対する本会の制裁が諸外国においても確実に相互適用されるべく、不服申立</li> </ul>

		<p>て制度を整備。また、I F H A「競走ルール（裁決事項）の調和に関する委員会」に出席し、諸外国の裁決担当者と意見交換を行い、日本が検討すべき課題について裁決担当者間で協議するとともに、ワールドベストレースホースランキング会議に出席し、2016年の競走馬の世界ランキングを決定</p> <p>○ 地方競馬との協調に関しては、地方競馬全国協会と情報連絡会議を実施し、裁決業務に関する課題について協議・検討を実施</p>
<b>（２）登録・免許及びその取消しの厳正な実施</b>		
	<b>① 登録及び免許の実施状況</b>	
	i) 馬主登録	<p>平成 27 年末          2,360 名（うち個人 2,003、法人 302、組合 55）</p> <p>新規登録              147 名（うち個人 123、法人 23、組合 1）</p> <p>登録抹消              125 名（うち個人 112、法人 9、組合 4）</p> <p>平成 28 年末現在          2,382 名（うち個人 2,014、法人 316、組合 52）</p>
	ii) 競走馬登録	<p>平成 27 年末          7,789 頭</p> <p>新規登録              5,445 頭（うち再登録 317 頭）</p> <p>登録抹消              4,972 頭</p> <p>平成 28 年末現在          8,262 頭</p>
	iii) 服色登録	<p>平成 27 年末          1,904 件</p> <p>新規登録              112 件</p> <p>登録抹消              119 件</p> <p>平成 28 年末現在          1,897 件</p>
	iv) 調教師免許	<p>平成 27 年末          199 名</p> <p>免許不更新の者          3 名</p> <p>平成 28 事業年度免許者 199 名</p> <p>〔3月1日付 更新 196 名、新規 3 名〕</p> <p>※その後、取消者 2 名</p> <p>平成 28 年末現在          197 名</p>
	v) 騎手免許	<p>平成 27 年末          128 名</p> <p>免許不更新の者          1 名</p> <p>平成 28 事業年度免許者 133 名</p> <p>〔3月1日付 更新 127 名、新規 6 名〕</p> <p>※その後、取消者 0 名</p> <p>平成 28 年末現在          133 名</p>
		<p>※ i) ～ v) について、いずれも国際交流競走、国際騎手招待競走及び地方競馬との指定交流競走は除く数</p>
	<b>② 短期免許の交付</b>	<p>○ 外国人騎手の短期免許について、平成 28 事業年度は 18 名（延べ 24 名）に臨時試験による短期免許を交付</p>
	<b>③ クラブ法人への対</b>	<p>○ クラブ法人関連について、金融商品取引法関連法令</p>

	応	に基づく登録業者の指導を監督官庁との連携のもと実施
(3) 不正事案の未然防止及び自主警備体制の整備		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 競馬の公正を確保するため、厩舎地区等の業務エリアにおける警備を万全な体制で実施</li> <li>○ お客様の安全確保及び場内外の秩序維持のため、自主警備を万全な体制で実施するとともに、関係機関と連携し、競馬の公正を阻害するおそれのある者の発見と排除を徹底</li> <li>○ 警備体制の策定にあたっては、「警備体制に関するガイドライン」に基づき、来場者の安全確保を前提としたうえで、効率的な配置を実施</li> </ul>
(4) 禁止薬物に対する取り組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 競馬の公正確保に資するため、引き続き禁止薬物の取締りに関する指導・啓発を実施</li> <li>○ 日本中央競馬会競馬施行規約第58条に規定される理化学検査を適正に実施し、また、当該検査機関である（公財）競走馬理化学研究所が実施する競馬の公正確保に関連する事業に協力</li> <li>○ 出走馬に禁止薬物が使用されることのないよう、厩舎関係者及び飼料納入業者に対する指導・啓発等の活動を実施</li> <li>○ 禁止薬物陽性事案が発生した際に迅速な対応をとるためには捜査機関との密接な協力関係が必要となることから、警察関係者に対して禁止薬物に関する説明会を実施</li> <li>○ 4月より、新たに8品目の薬物を禁止薬物として追加</li> </ul>
(5) 勝馬投票に関わる違法行為等の防止対策		
	① 未成年者の勝馬投票券購入防止対策	○ 未成年者の勝馬投票券購入防止対策として、職員等による指導注意活動を実施するとともに、レーシングプログラム等を活用した広報・告知活動を実施
	② ノミ行為、違法インターネット賭事等の防止対策	○ ノミ行為・違法インターネット賭事等の違法行為防止対策として、これらの勝馬投票類似行為が違法であることについて、レーシングプログラムやJRAホームページ等を活用した啓発活動を実施
	③ 悪質な競馬情報提供会社による被害防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 競馬予想に関する悪質な情報を提供する会社による被害を防止するため、情報収集を継続的に実施するとともに、特に悪質なものについては警察等への情報提供を行なうなど厳正な処分に向けた協力を実施</li> <li>○ 具体的な手口・内容をJRAホームページ内へ記載するとともに、競馬場・ウインズのモニター等において注意喚起ビデオ映像を放映したほか、レーシングプログラム等各種媒体にお客様向けの注意喚起文を掲載し、お客様に対する広報・告知活動を強化</li> </ul>

#### 4. 販売促進施策の推進

項目	内訳	具体的な内容
(1) 電話・インターネット投票会員の加入促進及び利便性の向上		
① 提携銀行の拡大等による加入促進		<p>○ 「WIN5」や「地方競馬インターネット発売」等のインターネット投票の利便性を積極的にPRするとともに、即PAT及びJRAダイレクトの指定金融機関を追加することにより、電話・インターネット投票会員への加入を促進</p> <p>○ A-PATの新規会員募集を2か月ごとに年間6回実施 (新規登録会員数7,616名)</p> <p>○ 即PAT会員及びJRAダイレクト会員の新規登録を随時実施 (即PAT新規登録会員数435,316名) (JRAダイレクト新規登録会員数33,542名)</p> <p>○ 即PATの指定金融機関として1月15日からゆうちょ銀行を追加 (新規登録会員数152,593名)</p> <p>○ JRAダイレクトの指定クレジットカード会社として、11月4日から三菱UFJニコスカード及び楽天カードを追加 (新規登録会員数/三菱UFJニコスカード5,281名、楽天カード9,481名)</p>
② サポート体制の充実		<p>○ 電話・インターネット投票に関する様々な問合せに的確にお答えするため、電話やJRAホームページを用いた案内を継続的に実施</p> <p>○ 対面式の「電話・インターネット投票サポートデスク」をウインズ後楽園及びウインズ梅田においては通年で、また、阪神競馬場においては自場開催限定で設置したほか、海外競馬のインターネット発売開始に合わせて臨時サポートデスクを各所に設置し、既存会員のサポートのみならず、即PAT会員を中心とした新規会員登録受付も併せて実施</p> <p>○ インターネット投票の問合せに対する受付体制を強化するため、問合せ対応に必要な情報を開催毎に事業所へ提供。また、一部のウインズで職員向けに講習を実施</p>
③ 電話・インターネット投票会員向けサービスの充実		<p>【JRAダイレクト】</p> <p>○ システム利用料無料キャンペーン等により認知度の向上を図るとともに利用を促進(発売金47.2億円対前年比105.5%)</p> <p>【各種キャンペーン】</p> <p>○ 発売金及び参加率向上策として、電話・インターネット投票会員向けキャンペーンを以下のとおり実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 即PATウェルカムキャンペーン(1～4月)</li> <li>・ 春トク馬連キャンペーン(2～4月)</li> <li>・ 日本ダービー・オークスプレゼントキャンペーン</li> </ul>

	<p>(5月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オッズ・マスターズ・グランプリ2016ー俺より当てる奴に会いに行くー(6～7月)</li> <li>・ 夏の2歳単勝キャンペーン(6～9月)</li> <li>・ 秋の最終馬連キャンペーン(9～10月)</li> <li>・ 歴史のトビラを開け!凱旋門賞キャンペーン(10月)</li> <li>・ オッズ・マスターズ・グランプリ2016ーThe GI CHALLENGー(10～12月)</li> <li>・ JRAダイレクトトクトクホクホクキャンペーン(11月)</li> <li>・ DRAMA of ARIMA(11～12月)</li> <li>・ お馬のフチ子と有馬記念プレゼントキャンペーン(12月)</li> <li>・ Club A-PATキャンペーン(通年)</li> </ul> <p>○ オッズ・マスターズ・グランプリを除く全てのキャンペーンをClub A-PATからのエントリーとして、Club A-PATへの加入を促進</p> <p>【会員向けの情報発信】</p> <p>○ 年間を通してClub A-PAT会員向けのメール(Club A-PATメール)を送信(年間送信回数340回)し、各種情報を提供 (平成28年末会員数約167万名)</p> <p>○ 12月に電話・インターネット投票会員(約121万名)に対し、「JRAからのお知らせ」「レーシングスケジュール」等を送付し、電話・インターネット投票及びJRAにおける各種サービス等についての案内を実施</p>
④ 電話・インターネット投票の利便性の向上	<p>○ お客様に分かりやすい呼称とするため、9月末から、「IPAT投票」を「インターネット投票(通称ネット投票)」に、「ARS投票」を「電話投票(通称プッシュホン投票)」に変更</p> <p>○ インターネット投票環境の確認を通年で行い、新しいOSやブラウザのバージョンアップに対応する等、会員の利便性を向上</p>
(2) 販売ネットワークの拡充策の実施	<p>○ 3月5日より日本レーシングサービス(株)(鳥取岩美)及び7月30日より兵庫県競馬組合(福山駅前・柳津)の各管轄施設での発売を開始し、地方競馬施設を活用した委託場外は前年末比3か所増となる48か所(ウインズ3か所、J-PLACE45か所)まで拡大</p> <p>○ ライトウインズ阿見に続く小規模発売店舗の出店を目指し、地方自治体や電鉄会社、商業施設所有者との意見交換等を実施</p>
(3) 払戻金への上乗せ施策の実施	<p>○ 払戻金を通じたお客様への直接的な還元、中央競馬への参加促進と満足度の向上を図るため、特別振興資</p>

		金を活用した「払戻金への上乗せ施策」を実施
	① 1号給付金（JRAプレミアム）	○ JRAプレミアムについては、馬連を対象とした「金杯馬連（1/5）」「春の最終馬連（2/27～4/3）」「桜花賞馬連（4/10）」「皐月賞馬連（4/17）」「オークス馬連（5/22）」「ダービーウィーク馬連（5/28・29の全レース）」「秋の最終馬連（9/10～10/16）」「有馬記念ウィーク馬連（12/23～25の全レース）」、単勝を対象とした「夏の2歳単勝（6/4～9/4）」、単勝及び馬連を対象とした「2歳GI単勝&馬連（12/11 阪神ジュベナイルフィリーズ、12/18 朝日杯フューチュリティステークス）」として、それぞれ対象投票法の売上の5%相当額の上乗せを過去最多となる計372競走で実施 (上乗せ総額 2,662,825,980円)
	② 2号給付金（JRAプラス10）	○ 通常の払戻金が100円元返しとなる場合に10円を上乗せして110円で払い戻す「JRAプラス10」を、海外競馬を含む「全ての競走の全ての投票法」を対象として実施 (600件 上乗せ総額 2,723,073,960円)
(4) 各種販売促進施策の展開		<p>【クイックピック投票・ブース販売の実施】</p> <p>○ コンピュータが馬番号・組番号を選択する「クイックピック投票」を全国の競馬場・ウインズにて、全開催日に実施。また、「クイックピック投票」を活用し、おみくじ感覚でお客様に馬券を購入していただく「ブース販売」を計37の事業所で延べ385開催日実施し、新規・ライトファン層を多く含む延べ42万名を超えるお客様へ勝馬投票の体験を提供</p> <p>【JRAパーティーキャンペーンの実施】</p> <p>○ 結婚式や2次会向けに馬券をお届けする「JRAウェディング」を春季と秋季に実施 (申込み件数57件、参加人数延べ5,290名)</p> <p>○ 結婚相談業者等と連携したお届けについては、東京競馬場来賓室を会場とした婚活パーティーを6回実施したほか、街中で開催されているパーティー会場にも合計32回（延べ318名）に亘り馬券お届けを実施</p>
(5) 観戦環境等の向上		<p>○ 分煙化については、競馬場及びウインズに来場されるお客様の健康及び安全確保の観点から、引き続き推進。具体的には、東京競馬場においてパドックエリアを全面禁煙とする等、一部競馬場において屋外禁煙エリアの拡大を行うことにより分煙化を拡大。また、分煙化の拡大に伴い、お客様向けの分煙告知ビデオをターフビジョン・ITVにて放映するなど、広報・告知活動を実施</p> <p>○ 快適な観戦環境の整備に向けて、競馬場及びウインズにおける施設内の環境美化を推進するため、クリーンキャンペーンを実施</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ お客様への訴求度の向上を図るため、「開催お知らせ」、「レース紹介」、「出馬表」、「競走成績」等のポスターの掲出について「掲出物に関するガイドライン」に基づき、見直しを実施</li> <li>○ エクセルシートの利用を促進するため、「有料席等利用料規則」に基づく特別料金の設定やイベント催事での景品提供を積極的に展開</li> <li>○ 利用状況等を踏まえ、ウインズ難波のエクセルシートを増席</li> <li>○ 競馬場・ウインズ等に来場するお客様の購買動向等を調査するとともに、お客様のニーズを把握するための「顧客満足度調査」を実施して各種施策に反映</li> </ul>
(6) i - S e a t の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ エクセル浜松において、8月よりインターネット投票の仕組みを利用した現金投票システム（i - S e a t）の運用を開始し、i - S e a t を運用している事業所が11か所に拡大</li> </ul>

## 5. 競馬への参加促進施策の推進

項目	内訳	具体的な内容
(1) 広報活動の展開		
	① 競馬中継の安定的な提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ テレビ（地上波・BSデジタル）・ラジオによる競馬中継は、お客様にレース映像・情報を提供する重要な役割を果たしていることから、競馬中継を安定的に提供することや番組内容の改善について、各局との協議・連携を継続的に実施</li> </ul>
	② 中央競馬のイメージ向上と競馬への参加促進（広告プロモーション）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中央競馬へのロイヤリティ向上と参加意欲のさらなる強化を図るため、前年に引き続き過去の名馬が一堂に会した架空のレース映像とともに競馬と人生の関わりを描いたブランドCM「夢の第11レース」を継続放映したほか、競走馬の美しさやレースの迫力、騎手の技術や駆け引きなどレースそのものに焦点を当てた新たなブランドCM「a b e a u t i f u l r a c e」を制作・放映</li> <li>○ 中央競馬の認知拡大とイメージ向上、さらには競馬への参加意欲の強化に資するものとなるよう、前年に引き続き、競馬場や季節ごとの競馬の楽しみ方等を「瑛太さん」「有村架純さん」「笑福亭鶴瓶さん」の3人のCMキャラクターが訴求する「あなたの競馬が走り出す。」シリーズを、シーズン編2編（春秋及び夏）とG I 告知編13編を制作・放映</li> <li>○ 中央競馬に対するより一層の興味喚起や理解醸成を図るため、競馬の実況部分に着目し、競馬にまつわる主人公の行動に実況を付けながらストーリーを展開することで自然な形で競馬を印象づけていく実況ミステリードラマや、競走馬とそれに関わる人々とのエピソードをドキ</li> </ul>



		<p>ュメンタリー形式で紹介するミニ番組等のテレビ番組を放送</p>
③	パブリシティ活動の充実	<p>○ 競馬に関する話題性を喚起するとともに、競馬に関連した紙面の充実を図るため、マスメディアへのきめ細かなパブリシティ活動を実施したことで、一般紙においても「16年ぶりのJRA女性騎手のデビュー」「海外競馬の勝馬投票券の発売開始」「天皇賞（春）、ジャパンカップ、有馬記念における北島三郎さんの『まつり』熱唱」など、中央競馬関連記事が多く掲載されたほか、ニュースやワイドショーなど放送メディアでも同様の話題が多く取り上げられ、広く世の中一般に対して「競馬」及び「中央競馬」をアピール</p> <p>○ 「優駿」など各種出版物により、的確かつ時宜を得た内容の情報提供をマスコミ及び一般向けに実施</p> <p>○ JRA賞授賞式等の開催を通じて、競馬への理解促進やイメージ向上に貢献</p>
(2) 日本ダービー及び有馬記念を中心としたGI競走のプロモーションの強化		
①	日本ダービー・有馬記念におけるプロモーション	<p>○ 競馬に馴染みのない方々にも知名度の高い「日本ダービー」「有馬記念」をフックとした「キッカケ」を作り、「競馬場への来場」「競馬への参加」「レースの視聴」を促進するため、大規模な街頭プロモーションを実施。具体的には、日本ダービーでは「新宿駅周辺エリア」等で、有馬記念では首都圏主要各都市（新宿・渋谷・品川・秋葉原等）でそれぞれの競走を幅広く告知・アピールするイベントを展開するとともに、主要ターミナル駅において屋外広告・交通広告を展開</p> <p>○ 東京都市圏・大阪都市圏・一部地方都市（札幌・高松・米子・広島・小郡）において、街頭イベントで抽選券付きチラシの配布やメール配信による来場促進施策を実施</p> <p>○ 日本ダービー・有馬記念時の開催競馬場においては、テレビCM『あなたの競馬が走り出す。』に連動した展示イベントを競馬場で展開したほか、過去の優勝馬や関係者を紹介するパネルやレース映像の展示等を実施</p> <p>○ 日本ダービーにおいて、全国の競馬場・ウインズで統一の装飾を実施</p> <p>○ 有馬記念では出走馬の馬主・調教師・騎手を一堂に会し、馬番号決定の抽選会の模様をテレビで生中継</p>
②	GI競走のプロモーションの強化	<p>○ 日本ダービー及び有馬記念をピークとしたGI競走の認知拡大を図るため、両レースの直前1ヵ月を中心に、様々なメディアで集中的な広告展開を実施。具体的には、テレビ・ラジオでのパブリシティ（バラエティ番組、スポーツニュース、情報番組内のインフォマーシャル、ミニ番組、人気アニメとのコラボ番組等）、集中的なテレビCMの出稿、全国的な一般紙を含む新聞・雑誌広告の出稿、多くの人が行き交うターミナル駅や主要交通機関での大々的な屋外広告・交通広告の掲出等を実施</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本ダービー・有馬記念以外の主要G I 競走のプロモーションを関東地区（汐留等）や関西地区（梅田等）等において実施。幅広く告知・アピールし、競馬場やパークウインズへお客様を誘引</li> <li>○ G I 競走の話題喚起として、人気フィギュア「コップのフチ子」とのコラボレーションサイト「お馬のフチ子と日本ダービー」「お馬のフチ子と菊花賞」を公開。さらに、歴代名馬とコラボレーションとしたオリジナルフィギュアの限定販売を東京競馬場及び京都競馬場において実施</li> <li>○ スケールメリットを活かして訴求効果を高めるため、ジャパンカップ当日に全国のウインズで一斉にイベントを展開</li> </ul>
<b>（３）海外競馬の勝馬投票券の発売による競馬の魅力向上</b>		
	① 発売する海外競馬の情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 凱旋門賞、メルボルンカップ、ブリーダーズカップフィリー&amp;メアターフ及び香港国際競走（４競走）の計４日間、７競走の発売を実施 （参加人員約１６０万人、発売金約９５億円）</li> <li>○ 発売対象レースに関して、各主催者等と契約を締結し、グリーンチャンネル等でライブ映像を提供</li> <li>○ 発売対象レースに関して、主催者等を通じて入手した出走馬データをすみやかにマスコミに情報提供することにより、お客様への正確な情報提供を実施</li> <li>○ 初の海外競馬の勝馬投票券の発売となった凱旋門賞（フランス）にあわせ、９月１２日に海外競馬発売サイトを開設。サイトでは、基本情報として、出馬表、変更情報、払戻金、レース結果等を掲載。また、海外競馬は情報量が中央競馬に比べ少ないことから、レースの概要、出走馬の紹介や現地情報等、お客様の予想に役立つコンテンツを中心に掲載</li> </ul>
	② 海外競馬の情報発信による競馬の魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 海外競馬に対するより一層の興味喚起や理解醸成を図るため、海外の美しい映像とともに海外競馬の魅力に触れる機会を拡大する番組を放送</li> <li>○ 海外競馬の勝馬投票券発売開始というトピックスを効果的に告知し、国際的なスポーツエンターテインメントとしての競馬に対する興味喚起と参加促進を図るため、初の海外競馬の勝馬投票券の発売となった凱旋門賞について、テレビパブリシティや一般紙・スポーツ紙等で海外競馬やレースに関する情報、発売に伴う各種情報を放送・掲載</li> <li>○ プロモーションサイトとして「海外競馬特集サイト」を開設。主なコンテンツとして、日本馬の海外挑戦の歴史から電話投票加入促進ページまで、海外馬券発売への話題を醸成するようなコンテンツを制作</li> </ul>
<b>（４）多様なお客様層に応じたアプローチによる現金発売を行う施設の活性化</b>		
	① 多様なお客様層に応じたアプローチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 既存のお客様により競馬をお楽しみいただくとともに、競馬に馴染みのない方々にもご参加いただけるよ</li> </ul>

	<p>う、多彩なお客様サービスイベント等、お客様のニーズを踏まえた以下の各種施策を実施</p> <p>◇ G I シーズンやローカル期間中の競馬場及びウインズにおいて、競馬キャスターやタレント等を起用した各種トークショーイベントやファミリー向けキャラクターショーを実施。また、お客様への感謝の意を表するため、「お年賀タオル」（1月5日、22万枚）、「2017 J R A オリジナルカレンダー」（12月11日、41万部）を配布</p> <p>◇ 夏季競馬における参加促進 全国の競馬場・ウインズにおいて「J R A サマーシリーズキャンペーン」として、「シリーズ優勝騎手予想」と「サマー2000」「サマースプリント」「サマーマイル」の優勝馬予想も実施。また、札幌競馬場で開催された「ワールドオールスタージョッキーズ」の優勝予想をWキャンペーンとして実施</p> <p>◇ 東京競馬場・中山競馬場において、ファン化を目的とした体系的な講義内容の「実践型競馬教室（R E X S）」を展開し、競馬未経験のお客様へ積極的に競馬の魅力を訴求 （実施回数258回、参加人員延べ10,151名）</p> <p>◇ 全国の競馬場及び一部ウインズにおいて、競馬初心者を対象とした「ビギナーズセミナー」を実施 （実施日数延べ309日、参加人員延べ28,181名）</p> <p>◇ 女性のお客様の取り込み・定着化策として、女性専用エリア（U M A J O スポット）を、新たに函館競馬場、新潟競馬場、中山競馬場及び中京競馬場に設置し、全10競馬場で展開するとともに、他コンテンツとのタイアップやプロモーション映像の制作・放映を実施</p> <p>◇ J R A の公式プログラムとして、「レーシングプログラム」を年間通じて安定的に発行し、お客様へ有益と思われる各種情報を提供。特に注目度の高いレースである日本ダービーや有馬記念では特別カラー版を配布。また、海外馬券の発売開始に合わせて、凱旋門賞発売日、ブリーダーズカップ発売日、香港国際競走発売日にカラーによる特別記事を掲載</p> <p>◇ 宝塚記念及び有馬記念において「ファン投票」を実施。有効投票件数はそれぞれ115,942件（前年比122.5%）、173,849件（前年比97.8%）</p> <p>◇ ウインズ新宿等の都市型ウインズでは、ビギナー層に向けて、ウインズ米子等の郊外型ウインズでは、ファミリー層に向けて、G I 開催日を中心としたイベントを積極的に実施</p>
② 周辺観光地等との連携など付加価値の	○ 全国の競馬場において、競走名にちなんだ各地域の物産展や競馬場所在地域の名産品店の出店や、食堂・売店

<p>提供による来場きっかけ作り</p>	<p>利用促進クーポンの配布など様々な「食のイベント」を開催。また、中山・東京・京都・阪神の各競馬場において、食堂・売店を利用されるお客様へのサービス改善を目的としたアンケート調査を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「さっぽろ雪まつり」等の観光イベントにおいて広報・プロモーション活動を行い、地元住民及び観光客への効果的なPR・露出を展開</li> <li>○ 競馬場周辺のホテル、旅館、飲食店等の協力を得てポスターの掲出やチラシの設置、観戦ツアー等を実施</li> <li>○ 周辺自治体のゆるキャラ等による観光・産業紹介を実施</li> <li>○ 企業とタイアップした各種イベントや自治体との共済イベントを、開催競馬場や一部ウインズにおいて実施</li> <li>○ 中山・東京・京都・阪神・中京の5競馬場の来場促進策として、複数場でポイントを加算できる競馬場来場ポイントキャンペーンを実施。また、夏季競馬の来場を促すため、札幌・新潟・小倉開催において期間限定で来場ポイントキャンペーンを実施</li> <li>○ 競馬場入場料を無料とする「フリーパスの日」を10競馬場で計14日間設定（うち、4日は女性を対象としたフリーパスの日として実施）</li> </ul>
<p>③ 駐車場や来賓室等を活用した来場促進策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 有料駐車場がある9競馬場において、駐車場あいのりキャンペーンを実施するとともに、函館競馬場・福島競馬場・京都競馬場・小倉競馬場において周辺交通環境の変化、パークウインズ時のイベント、施設改修工事に絡めて駐車場料金の割引や無料券配布等を行い、グループでの来場を促進</li> <li>○ 来賓室等を活用し、富裕層等の新規のお客様を対象とした競馬場への誘引や競馬講座を実施 （実施回数 約140回、参加人数約3,600名）</li> <li>○ 団体割引（中山）や特定団体（愛馬会など）への開催単位の販売（中山）等を実施するとともに、東京競馬場においては、一部の指定席を営業用招待席として有効活用</li> </ul>
<p>④ 函館競馬場開設120周年事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「函館競馬場開設120周年」の記念年として、これまでのご愛顧に感謝するとともに、来場促進を図るため120周年を記念した特別グッズの作成とお客様への配付を実施</li> <li>○ 3月に北海道新幹線が開業したことから、ゴールデンウィーク期間中に、「北海道新幹線開業記念」として大規模なイベントを実施。また、「北東北エリア」からの来場を促進するため、テレビスポットの放映や東北主要駅でのポスター掲示、仙台駅周辺でのサンプリングを実施</li> <li>○ 秋競馬以降は「冬の感謝祭」（11月19日～12月25日）として、ファミリーイベントやタレントショー等を実施</li> </ul>

(5) 払戻率の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現行の払戻率（単勝 80%、複勝 80%、枠連 77.5%、馬連 77.5%、ワイド 77.5%、馬単 75%、3 連複 75%、3 連単 72.5%、WIN5 70%）設定以降のお客様の購買動向等を分析し、現在の率の継続を決定</li> <li>○ 引き続き、分析・検証を行い、必要に応じて払戻率を見直すことを確認</li> </ul>
(6) レース映像及びホームページ等のサービスの充実	
① レース映像の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ よりわかりやすく迫力ある映像を提供することにより、お客様サービスを維持向上するため、GI 競走当日を中心とした特定の日において、スーパースローカメラ、ヴァーチャルカメラ、車載カメラ等の特殊カメラを増設</li> </ul>
② ホームページ等のサービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ JRA ホームページには、1 年間で約 67.6 億ページビュー（延べアクセス数。以下「PV」）と過去最高のアクセス（対前年比 103.4%）。その内訳はパソコン版が約 40.9 億 PV（同 99.4%）、スマートフォン版（以下「スマホ版」）が約 20.2 億 PV（同 121.1%）、携帯版が約 6.5 億 PV（同 86.4%）。1 日あたりの平均アクセス数は 1,846 万 PV であり、1 日あたりの最大アクセス数は宝塚記念当日の約 6,658 万 PV（パソコン版：4,027 万 PV、スマホ版：約 2,164 万 PV、携帯版：467 万 PV）</li> </ul>
i) 競馬情報サービスの充実及び企業情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ JRA ニュースについて、パソコン版とスマホ版で同一の情報がリアルタイムに取得ができるよう、全てのデバイスに対して、外観や操作方法が最適化するレスポンス対応を実施</li> <li>○ 宝塚記念、天皇賞（秋）に関する情報を集中的に掲載した特設ページを公開。また、特定の GI 5 レースについて、映像や画像を盛り込んだスペシャル出馬表を掲載</li> <li>○ ドバイワールドカップデー、クイーンエリザベス II 世カップ、日本ダービー、凱旋門賞、香港国際競走、有馬記念を対象に、「JRA レーシングビューアー」や機関誌「優駿」とコラボレーションした特集サイトを開設</li> </ul>
ii) 機能改善及び新規項目の追加	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スマホ版のユーザーが増加傾向にあることから、デザイン性や機能性向上を目的としたトップページのリニューアルを 11 月に実施</li> <li>○ お客様の利便性向上という観点から、3 連単人気順オッズの表示拡大や WIN5 払戻金ランキング等の機能改善を実施</li> <li>○ ホームページへのアクセス緩和のため、ウェブサイトの表示速度の向上となるネットワークサービスを導入した結果、有馬記念当日の負荷率が半減する等、ホームページの閲覧環境が大きく改善</li> <li>○ ウェブアクセシビリティ対応として、一部コンテンツ改修を行い、同方針を策定のうえ、JRA ホームページに公開</li> </ul>
iii) 競馬未経験者向け	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 競馬エンターテイメントサイト「U m a b i（うま</li> </ul>

新サイト	<p>び)」について、年間を通じて展開。競馬未経験層をターゲットとしてウェブコンテンツを提供するとともに、SNS活用等により拡散を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人気ゲーム「ダービースタリオン」とのコラボレーションサイト「ダービースタリオンMASTERS～Umaabi牧場編～」を公開</li> <li>○ 人気アニメ「おそ松さん」とのコラボレーションサイト「走れ！おう松さん」を公開</li> <li>○ 大ヒット映画「シン・ゴジラ」とのコラボレーションサイト「シン・アリマ」を公開</li> <li>○ スペシャル対談企画「武豊×田中将大」を公開</li> </ul>
iv) SNS（ソーシャルネットワークサービス）を利用した展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 競馬の話題喚起及び拡散を目的に、JRA公式Facebook ページで競馬やイベント等に関する話題を提供。また、お客様とのエンゲージメントを高めることを目的として、10月～11月にファン参加型キャンペーンを実施 (平成28年末の「いいね!」数：約18万)</li> <li>○ YouTube のJRAチャンネルでは、レース映像やCM素材等様々なジャンルの動画を掲載 (平成28年末の登録者数：約4.6万名)</li> <li>○ UMAJOスポットにおいて、若年層女性にとって主要な情報入手・拡散ツールであるSNSを活用した施策を実施</li> </ul>
③ 指定席予約サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 指定席を利用されるお客様の利便性を高めるべく、指定席のインターネット予約分の席を一部競馬場（福島・小倉）で拡大。また、利用されるお客様の公平性を高めるため、夏のローカル競馬開催時期の重賞競走実施日における指定席予約発売方法を先着から抽選に変更</li> </ul>

## 6. 競馬の国際的な発展への取組み

項目	内訳	具体的な内容
(1) 競走を通じた国際交流の推進		
① 国際交流競走への外国調教馬の参加実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安田記念に1頭、ジャパン・オータムインターナショナルの競走では、ジャパンカップに3頭の外国調教馬が出走</li> <li>○ 高松宮記念に昨年の覇者エアロヴェロシティが来日したが、検疫期間中に疝痛を発症し出走取り止め</li> </ul>
② 国際競馬シリーズの振興		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国際交流競走の振興と世界規模でのスプリントチャンピオンを決定することを目的として、イギリスのアスコットオーソリティとニューマーケットレースコースーズトラスト、オーストラリアのレーシングヴィクトリアリミテッド、アラブ首長国連邦のドバイレーシングクラブ、及び香港ジョッキークラブの各主催者と提携し、「グローバルスプリントチャレンジ」(全10戦)を実施。日本ではシリーズの第3戦（高松宮記念）、第8戦</li> </ul>

	(スプリンターズステークス) を施行
③ 外国の競走への J R A 所属馬の参加実績	<p>○ 外国の競走への J R A 所属馬の出走を支援し、延べ 4 4 頭がイギリス、フランス、アラブ首長国連邦、オーストラリア、香港及び韓国の競走に出走</p> <p>○ J R A 所属馬の優勝実績 (カッコ内は国名と競走馬名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ U A E ダービー (アラブ首長国連邦、ラニ)</li> <li>・ ドバイターフ (アラブ首長国連邦、リアルスティール)</li> <li>・ チャンピオンズマイル (香港、モーリス)</li> <li>・ イスパーン賞 (フランス、エイシンヒカリ)</li> <li>・ モントルトゥー賞 (フランス、エイシンエルヴィン)</li> <li>・ ニエル賞 (フランス、マカヒキ)</li> <li>・ コリアカップ (韓国、クリソライト)</li> <li>・ レッドカーペットハンデ (アメリカ、ヌーヴォレコルト)</li> <li>・ 香港ヴァーズ (香港、サトノクラウン)</li> <li>・ 香港カップ (香港、モーリス)</li> </ul>
④ 交換競走の実施等	<p>○ 諸外国との交流の一環として、アメリカ、イギリス、アイルランド、ドイツ、アルゼンチン、ブラジル、ニュージーランド、オーストラリア、韓国、香港及びサウジアラビアとの交換競走を実施</p> <p>○ アジアウィーク (マレーシア、シンガポール、タイ、インド、フィリピン及びマカオとの交換競走) を 7 月に中京競馬場において実施</p> <p>○ アメリカのデルマーサラブレッドクラブとの交換競走 (デルマーサラブレッドクラブ賞マリーンステークス) を新設したほか、我が国と諸外国との外交関係周年事業を記念し、日伊国交樹立 1 5 0 周年記念ジューステークス、日本・ベルギー友好 1 5 0 周年記念霜月ステークスをそれぞれ実施</p>
(2) 日本の競馬産業の振興に向けた国際的な取組み	
① 日本の競馬産業の振興に向けた支援	○ 国内生産馬の海外への販路拡大の支援については、日本の生産者団体等と連携し、人材・技術交流を通じて、日本産馬輸出体制づくりを支援
② 訪日外国人の増加等への対応	<p>○ 世界における日本競馬の認知度を高めるために、G I 競走を中心としたレース映像を世界 8 カ国に配信</p> <p>○ J R A 外国語ホームページ (英・仏・中・韓) を活用して、積極的かつタイムリーに日本の競馬情報を提供。また、利便性向上のため、7 年ぶりとなるサイトリニューアルを行い、コンテンツの整理やデザインの変更を実施</p> <p>○ 海外のお客様誘致では、広くアジア諸国で配付している日本のガイドマップへの広告掲載を行ったほか、中国を中心に S N S やウェブニュース等へ日本の競馬情報を発信</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 秋季東京競馬開催期間中に、中国人留学生を起用した中国語案内ブースを試行的に設置したほか、在日及び訪日外国人向けに、SNSやウェブで募集する競馬観戦イベントを実施</li> <li>○ 競馬場やウインズでの来場外国人対応として、タブレット案内通訳サービスを11事業所（中山競馬場、東京競馬場、中京競馬場、京都競馬場、阪神競馬場、ウインズ汐留、ウインズ浅草、ウインズ銀座、ウインズ錦糸町、ウインズ札幌及びウインズ道頓堀）で試行</li> </ul>
(3) 海外の競馬開催国との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アジア競馬連盟（ARF）並びに国際競馬統括機関連盟（IFHA）執行協議会の常任理事国として、国際会議や海外主要競走視察等の場において、各国代表者との意見交換及び交流を実施</li> <li>○ 1月にインドのムンバイで開催された第36回アジア競馬会議や10月にパリで開催されたIFHA年次総会に合わせて開催された各諮問委員会に本会代表者を参画させ、国際競馬の発展、国際協調の維持及び日本競馬の国際的地位の向上に寄与</li> </ul>
(4) アジアにおける競馬の発展への取組み		
	① 中国との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中国本土の馬産業事情の調査を実施するとともに、中国の馬産業関係者等の日本招聘、日本の競馬関連技術者の派遣等による指導を実施</li> <li>○ 馬産業関係者間の協力関係が進展した結果、中国本土への日本産馬の輸出が実現</li> </ul>
	② ARF研修の実施	○ アジア競馬連盟加盟国の開催執務員を対象としたARF定期研修（6月）及び専門研修（8月）を実施

## 7. 施設の改善及び整備

項目	内訳	具体的な内容
(1) お客様関連施設の改善及び整備		
	① ライトウインズ阿見改築工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 建替え工事に先行して駐車場の拡張工事を実施し、11月より収容可能台数を99台から176台に拡張したうえで運用開始</li> <li>○ 平成29年夏頃の利用開始を目標とした建替え工事に着工</li> </ul>
	② 中型映像装置の更新	○ お客様に対し、より鮮明で迫力あるレース映像提供の維持向上を図るため、映像ディスプレイ装置を更新（福島競馬場、新潟競馬場、中京競馬場（制御機器のみ）、ウインズ錦糸町、ウインズ新横浜）
(2) 競走関連施設の改善及び整備		
	① 美浦トレーニング・センター厩舎改築工事	○ 美浦トレーニング・センターは昭和53年に開場し、他の施設同様厩舎についても老朽化が進んでいるため、先行して設置したモデル厩舎の検証等を踏まえ改築工事を行うこととし、第1期工事を平成27年11月に着工、平成29年4月に竣工予定



② 栗東トレーニング・センター調教スタンド改築工事	○ 調教スタンドは、昭和44年に建築されたものであり、老朽化が著しく、耐震構造上も現行の基準を満たしていないことから、安全確保のため改築工事を行うこととし、平成27年11月に着工、平成29年10月に竣工予定
---------------------------	---

## 8. コンピュータ・システムに関する取組み

項目	具体的な内容
(1) 海外競馬の勝馬投票券の発売に向けたシステム構築	<p>○ 出走可能頭数の違いなど海外競馬に対応した発売システムや、お客様への情報提供に必要なシステムを構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ トータリゼータセンタシステム（9月）</li> <li>・ I P A Tシステム（9月）</li> <li>・ 投票照会システム（9月）</li> <li>・ 即P A Tシステム（9月）</li> <li>・ インフォメーションシステム（9月）</li> <li>・ J R Aホームページシステム（9月）</li> <li>・ 統合データベースシステム（9月）</li> <li>・ J R A D Bシステム（12月）</li> </ul>
(2) システムの更新及び全体最適化	<p>○ 各システムの信頼性、安定性及び効率性の向上を図るために、以下のとおりシステムの更新等を行うとともに、円滑なデータ連携の実現等に向けて全体最適化を推進</p> <p>i) 平成28年に更新等を行い運用開始したシステム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 即P A T（統合機）システム（1月、5月）</li> <li>・ J R Aネットシステム（2月・9月）</li> <li>・ 第8次現金投票システム（2月）</li> <li>・ 競走馬情報管理システム（J A R I SⅢ）（3月・4月・9月・12月）</li> <li>・ I P A Tシステム（3月、9月）</li> <li>・ 新在席投票システム（5月）</li> <li>・ インフォメーションネットワーク機器（8月）</li> <li>・ J R Aダイレクトシステム（9月、11月）</li> <li>・ 開催従事員給与計算システム（EMS）（9月・12月）</li> <li>・ 会計システム（O A C S）・固定資産管理システム（K S K）（9月・12月）</li> <li>・ C l u b A－P A Tシステム（9月）</li> <li>・ 投票照会システム（9月）</li> <li>・ マイナンバー管理システム（10月）</li> <li>・ 統合データベースシステム（12月）</li> <li>・ J R A D Bシステム（12月）</li> <li>・ J R Aホームページシステム（12月）</li> <li>・ インフォメーションシステム（12月）</li> <li>・ 工事競争入札資格審査システム（K S S）（12月）</li> </ul> <p>ii) 平成28年に更新開発に着手したシステム</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 即PATシステム（2月、6月）</li> <li>・ レース指定式テレホンシステム（3月）</li> <li>・ 競走馬情報管理システム（JARISⅢ）（4月・7月・12月）</li> <li>・ IPATシステム（7月）</li> <li>・ 開催従事員給与計算システム（EMS）（7月）</li> <li>・ 番組企画システム（JARIS-R）（9月）</li> <li>・ DIANAシステム（11月）</li> <li>・ 会計システム（OACS）・固定資産管理システム（KSK）（11月）</li> </ul>
（３）情報セキュリティの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報セキュリティ委員会を開催し（2月、3月、12月）、情報セキュリティの現状とセキュリティ体制の整備の現状及び今後の方針について確認</li> <li>○ 情報セキュリティ監査として、ペネトレーションテスト及びマネジメント監査（それぞれ10月、11月）を実施</li> <li>○ 情報セキュリティに関する知識・理解の定着のために、新規採用職員向け講習（4月）、役職員による自己点検（7月、8月）及びeラーニングを利用した全職員向け研修（6月、10月、11月）を実施</li> <li>○ 標的型攻撃メールによる情報漏えいリスクを低減することを目的として、全職員向け研修（8月）を実施</li> <li>○ 競馬開催に関連する各システムにおいて、ファイアウォール（FW）や不正侵入防御システム（IPS）等を適切に運用し、不正アクセスや情報漏洩等の起こらないセキュリティ体制を維持（通年）</li> <li>○ プログラムの不具合により、Club A-PATにログインした会員の個人ページの一部情報がそれぞれ別の会員に一時的に表示された事象が発生し、サービスを一時休止。会員サイト上にてお詫び文を掲載するとともに、プログラムを改修してサービスを再開</li> </ul>

## 9. 事業構造の改善に関する取り組み

項目	内訳	具体的な内容
（１）経費負担の抑制		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 競走馬総合研究所本所（宇都宮）の機能を栃木支所に移転し、研究業務を集約</li> <li>○ 小倉競馬場と所在市を同じくするウインズ八幡について、お客様の競馬場への案内や電話・インターネット投票への加入促進等を実施し、12月27日の払戻業務終了をもって営業を終了</li> <li>○ 警備関連経費、清掃関連経費、案内関連経費、光熱水経費等の削減を目的とし、標準発券枚数及び端末更新計画等も考慮のうえ、13ウインズでフロアの縮減等を実施</li> <li>○ ウインズにおいて、諸管理業務の内製化等による効率</li> </ul>

		化を適宜実施
<b>(2) 経営資源の有効活用</b>		
	① 資産の有効活用	○ ジャパンカップにおけるロンジン社とのパートナーシップを継続し、お客様への還元とともに、同社のブランドイメージや競馬をイメージした広告展開でのジャパンカップのPRにより、国際的なスポーツエンターテインメントとしての雰囲気醸成
	② インターネット投票における地方競馬の受託発売の実施	○ A-PAT会員及び即PAT会員向けに、インターネット投票による地方競馬の受託発売を実施 (発売日数232日、発売金約595億円)
	③ 人材教育の充実	○ 職員に対し、個々の更なる能力向上や組織の活性化のため、人材育成における中長期的目的達成のための階層別研修、部門・分野によって必要となる高度な専門的知識習得のための専門研修及び業務遂行上で求められる一般的で普遍的な知識・資格習得の機会付与を目的とした一般研修を実施 ○ 全国の競馬場及びウインズにおいて、職員、開催従事員及び関係事業者のスタッフを対象としたマナーアップキャンペーン等を実施 ○ 関連団体の職員を対象とした研修等を実施し、JRAについての知識と理解を深めるとともに、JRAグループの一員としての意識を向上

## 10. 社会的責任の遂行

項目	具体的な内容
(1) コンプライアンスに関すること	○ コンプライアンス体制の一層の充実を図るため、役職員が日々守るべき基本的な行動基準を具体化した「コンプライアンス行動指針」の周知徹底に努め、その実践を推進 ○ 役職員に対し継続的にコンプライアンスに関する研修を実施するとともに、内部監査・アンケート等によりコンプライアンス体制の現況について確認、点検し、適宜必要な見直しを実施
(2) 個人情報・法人文書等の管理に関すること	○ 「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」に基づき、特定個人情報に係るシステム運用とマイナンバー管理を開始 ○ 「公文書管理法」に基づき、東日本大震災関連の保有法人文書を歴史的公文書として国立公文書館に移管
(3) 情報公開に関すること	○ 「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律(情報公開法)」に基づく開示請求はなし ○ 「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」に基づく開示請求はなし ○ 情報公開法の規定に基づき、JRAの経営内容等が掲載された文書について、引き続き、JRAホームページ等を活用して公開

(4) 契約・入札等に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 契約の適正化に向けた不断の点検を行い、契約の一層の競争性・公正性の向上を推進</li> <li>○ 契約手続きの透明性を確保するため、工事の発注、物品の製造・購入及び役務に関する情報等について、JRAホームページに随時公開</li> </ul>
----------------------	---

## 1 1. 社会貢献活動への取組み

項目	内訳	具体的な内容
(1) 地域社会への貢献		
	① 防災対策の推進 など地域社会との 連携・協調	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係法令に則り、事業所毎に各防災計画・マニュアルの整備及び職員等関係者への周知を徹底し、関係者の防災意識の向上を促進</li> <li>○ 大規模災害発生時の対策として、主に広域避難場所として指定されている競馬場においては、有事に備えて帰宅困難となった来場者及び周辺住民の避難を想定し配備している防災備蓄品を適切に管理。また、都市部ウインズにおいても、来場者が帰宅困難となった場合を想定し、配備している防災備蓄品を適切に管理</li> <li>○ 「くらやみまつり（5月3日大国魂神社）」や「馬車道まつり（11月3日関内・伊勢佐木町エリア）」等、地域の祭りや本部・事業所周辺の団体が主催する多くの催しに、人馬を派遣する等の協力を実施</li> </ul>
	② 事業所周辺の環境保全、整備に関する取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 競馬開催日の交通対策として、周辺環境に配慮し来場車両を抑制するため、お客様に公共交通機関の利用の呼びかけを実施</li> <li>○ 周辺道路の混雑及び渋滞の要因ともなる違法駐車を排除するため、警備ポストを配置する等の対策を実施</li> <li>○ 競馬場・ウインズ等が所在する合計38の地方自治体に対して、平成28事業年度は、道路・交通安全施設整備事業、教育・社会福祉施設整備事業、公園整備事業等の合計372事業に、総額53.8億円の環境整備事業費を交付し、事業所周辺の環境整備事業を実施</li> </ul>
(2) 乗馬普及・馬術の振興及び馬事文化の発展等に関する取組み		
	① 乗馬の普及	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ JRA馬事公苑及び各事業所において、一般市民やスポーツ少年団を対象とする乗馬指導、初心者を対象とする乗馬教室を実施</li> <li>○ 乗馬に取り組む子供たちの目標となる大会として、全国ポニー競馬選手権「第8回ジョッキーベイビーズ」を実施（全国8地区の代表決定戦で8名の選手を選出し、決勝大会を10月9日に東京競馬場で実施）</li> <li>○ 馬と直接触れ合う機会を拡充するため、全国の事業所において、「馬に親しむ日」や「愛馬の日」をはじめとする馬事イベントを開催</li> <li>○ 競馬開催日に、「体験乗馬・馬車」「誘導馬によるお</li> </ul>

		<p>出迎え・お見送り」「ポニーとのふれあい」を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 乗馬センターがリニューアルし、繋養馬の充実が図られた東京競馬場では、競馬開催日におけるアトラクションホースの演技披露など、多種多様なイベントを実施</li> <li>○ 乗馬人口の拡大を図るため、(公社)全国乗馬倶楽部振興協会、(公財)三木山人と馬とのふれあいの森協会が実施する乗馬普及事業に対して助成</li> </ul>
	② 馬術の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本会主催大会として、「J R Aホースショー」や内国産馬限定の「ジャパンプリーディングホースショー」を開催</li> <li>○ 「全日本障害馬術大会」や「全日本学生馬術競技大会(三大大会)」など多くの競技会に施設を貸与</li> <li>○ 学生を含めた馬術関係者の馬術に関する知識・技術の向上を図るため、J R A馬事公苑において各種講習会を開催</li> <li>○ 事業所周辺の学生馬術部及び乗馬クラブに対して、直接的な技術指導を実施</li> <li>○ 馬を取り扱う担当職員の技術向上を目的とし、J R A馬事公苑の馬術競技専門職員による乗馬技術や競走馬の再調教技術に関する各種講習会を実施</li> <li>○ 競馬関係者の馬への理解や取扱技術の向上を図るため、馬術競技専門職員による講習会を両トレーニング・センターで実施</li> <li>○ わが国の馬術の振興を図るため、(公社)日本馬術連盟が実施する馬術振興事業に対して助成</li> </ul>
	③ 馬事文化の発展への寄与	
	i) 「馬の博物館」及び「競馬博物館」	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 馬の博物館では、馬と人との交流によって生まれた様々な文物を常設展示し、また、春季特別展として「根岸競馬場開設150周年記念 ハイカラケイバを初めて候」、秋季特別展として「信長の馬・秀吉の馬」、企画展として「馬鑑(うまかがみ)山口晃展」等を実施</li> <li>○ 競馬博物館では、春季特別展として「三冠馬～世代の頂点に輝いた優駿たち～」、秋季特別展として「根岸競馬場開設150周年記念 ハイカラケイバを初めて候」、テーマ展として「勝馬投票を支える～トータリゼータシステム50年のあゆみ～」をそれぞれ実施。また、「馬の学び舎 ミュージアムホール」において、競馬・馬事文化紹介アニメ映像として「アニメ馬物語」を制作・上映するとともに、特別展と連動したトークショー等のイベントを開催</li> <li>○ 「G a t e . J」(新橋・梅田)では、「G I レース展望」「草野仁ゲート J プラス(グリーンチャンネル公開収録)」等を実施</li> </ul>
	ii) J R A 賞馬事文化	○ 平成28年の選考にあたっては、書籍・映像・展覧

	賞	会をはじめ幅広い分野から馬事文化に関わる作品等、約400点を対象に候補作品を絞り、信濃の山里に暮らす子供たちが、夏の祭りで自分の馬を決める過程の中で、正しいことや勇気について一生懸命に考え成長する過程とそれを温かく見守る里の大人たちの姿とともに描いた「さっ太の黒い子馬」（著者：小俣麦穂、絵：ささめやゆき）を選出
	iii) 馬事伝統文化の保存	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 馬事文化の発展に寄与するため、JRA馬事公苑等において、各地に伝承されている伝統馬事芸能を披露</li> <li>○ (公社)日本馬事協会が行う日本在来馬8種の保存活用推進事業に対して助成</li> </ul>
	④ 教育機関等を通じた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業所周辺の幼稚園や保育園において、ポニーとのふれあい活動を展開するなど、「馬」を活用した地域密着型の協力を実施</li> <li>○ 幼少期から馬への理解を深めて生き物を通じた豊かな人間性の形成に寄与するよう、事業所から実馬を派遣し「小学校出張授業」を実施するとともに、キッザニア甲子園に「ホースパーク」パビリオンを年間通じて出展</li> </ul>
(3) 2020 年東京オリンピック・パラリンピックへの協力		○ JRA馬事公苑が東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の馬術競技（クロスカントリーを除く）の会場となるため、行政機関や東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会等と調整のうえ、建築関連法令等の諸手続きに則り、1月に整備工事に着工。平成32年3月に竣工予定
(4) 環境への取組み		
	① リサイクルに関する取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成20事業年度より排出物対策の柱として取り組んでいる「RAP90」（リサイクル・アクション・プログラム・90：排出物のリサイクル率を90%以上とすることを目標とした取組み）に基づき、排出物の個別項目毎のリサイクル率の向上を目指した取組みを実施</li> <li>○ なかでも競馬開催に関する排出物について、平成27事業年度よりリサイクル率の目標を50%に設定</li> <li>○ この結果、平成28事業年度のリサイクル率は、全体：92.8%（前年 91.7%）、競馬開催に関する排出物：53.7%（前年 49.6%）</li> <li>○ 栗東トレーニング・センターの事業運営の安定化及び環境対応に資する目的で、使用済敷料の新たな処理法としてバイオマス発電システムを導入することとし、平成28年1月に着工、平成30年3月に竣工予定</li> </ul>
	② 温室効果ガス排出対策に関する取組み	○ 各事業所のエネルギー使用量を基にCO2の排出量を算定し把握するとともに、その排出抑制を目的に策定した「総量削減」と「原単位削減」の複合目標を達成するために、全事業所において省エネルギー推進体制を構築

		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 電力需要が高い夏季及び冬季においては、別途「省エネ対策」を作成し、関係団体を含む全事業所において重点的に取組みを実施</li> <li>○ 平成 28 事業年度の CO2 総排出量は 99,088t-CO2/年（対前年比 93.9%）、原単位は 0.0233kl/m<sup>2</sup>（対前年比 99.4%）</li> <li>○ 競馬学校、東京競馬場及び中山競馬場において、温室効果ガス排出抑制効果が高く、電力の効率化に資する「太陽光発電システム」を運用中</li> </ul>
<b>（５）特別振興事業等</b>		
	① 競馬振興事業	○ 平成 27 年 12 月に農林水産大臣の認可を得て、事業を実施（別表 12）
	② 畜産振興事業	○ 3 月及び 11 月に農林水産大臣の認可を得て、交付金を交付（別表 12）
	③ 払戻金への上乗せ	○ 1 号給付金として 26 億 6,282 万 5,980 円、2 号給付金として 27 億 2,307 万 3,960 円、合計 53 億 8,589 万 9,940 円を払戻金に上乗せ
	④ 競走馬生産振興業務への交付	○ 地方競馬全国協会が行う、軽種馬流通促進・経営基盤強化対策等の「競走馬生産振興業務」に対し、6 億円を交付
	⑤ 認定競馬活性化計画補助業務への交付	○ 地方競馬全国協会が行う、認定都道府県等に対する「認定競馬活性化計画補助業務」について、9 億 339 万 6,217 円を交付

## ＜別表目次＞

○ 別表 1（開催競馬場別開催実績）	P 31
○ 別表 2（平成 2 8 事業年度の各種実績）	P 32
○ 別表 3（開催回数の推移）	P 33
○ 別表 4（開催日数及び競走回数の推移）	P 33
○ 別表 5（出走頭数の推移）	P 33
○ 別表 6（お客様総数及び開催競馬場入場人員の推移）	P 34
○ 別表 7（発売金の推移）	P 34
○ 別表 8（電話・インターネット投票会員数の推移）	P 35
○ 別表 9（投票法毎の発売金の構成比の推移）	P 35
○ 別表 1 0（馬主・調教師・騎手・調教助手・厩務員数の推移）	P 36
○ 別表 1 1（国際競走等の状況）	P 37
○ 別表 1 2（特別振興事業について）	P 38
○ 別表 1 3（J R A 賞 受賞馬及び受賞者）	P 45



## 【別表1】

## 1. 開催競馬場別開催実績

	回数	日数	競走回数	出走延頭数	入場人員	発売金額
札幌	2回	12日	144競走	1,845頭	194,900名	71,584,756,000円
函館	2	12	144	1,821	84,291	66,495,876,000
福島	3	20	240	3,533	236,059	120,342,229,300
新潟	3	26	312	4,643	349,861	164,334,301,800
中山	5	41	491	7,308	1,101,593	495,506,406,500
東京	5	45	539	8,002	1,819,225	574,648,534,700
中京	4	26	312	4,662	393,120	187,607,683,100
京都	5	45	540	7,577	1,079,808	460,745,459,800
阪神	5	41	492	6,969	832,881	426,780,748,800
小倉	2	20	240	3,550	208,924	110,888,642,700
計	36	288	3,454	49,910	6,300,662	2,678,934,638,700

## 2. 競走成績

サラブレッド系	競走回数				出走延頭数	出走実頭数	1競走平均出走頭数
	一般競走	特別競走	重賞競走	合計			
2歳	562回	45回	14回	621回	8,588頭	3,115頭	13.8頭
3歳以上	1,855	736	114	2,705	39,743	7,824	14.7
障害	110	8	10	128	1,579	505	12.3
合計	2,527	789	138	3,454	49,910	※11,175	14.4

※ 平地競走と障害競走の両方に出走した馬の数は、269頭。

## ◎ 平成 28 事業年度の各種実績

①開催回数・開催日数	36 回・288 日
②競走回数	3,454 競走（前年実績 3,454 競走）
③出走延頭数	49,910 頭（前年実績 49,822 頭）
④勝馬投票券の発売金	2 兆 6,884 億 4,951 万 8,700 円（対前年比 103.9%）
⑤開催競馬場の入場人員	630 万 662 名（対前年比 99.7%）※ <sup>1</sup>
⑥お客様総数※ <sup>2</sup>	1 億 7,190 万 3,311 名（対前年比 103.6%）

※<sup>1</sup>うち女性入場人員は 103 万 2,850 名（対前年比 103.4%）。全体比 16.4%。

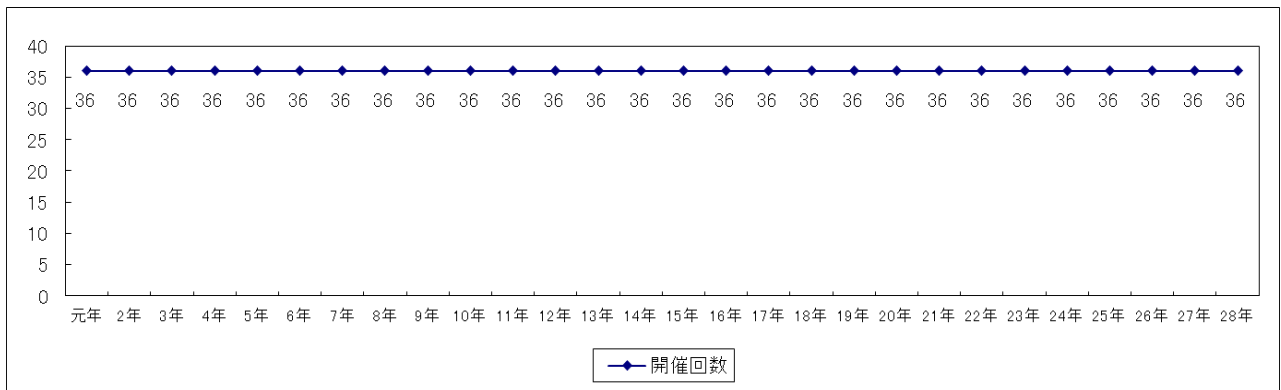
※<sup>2</sup>開催競馬場の入場人員にパークウインズ(641 万 7,100 名)、場外発売所(4,666 万 2,844 名)、電話・インターネット投票(1 億 1,252 万 2,705 名、海外競馬の利用者 160 万 2,276 名を含む)の利用者数を加えたもの。

## 〔発売金〕

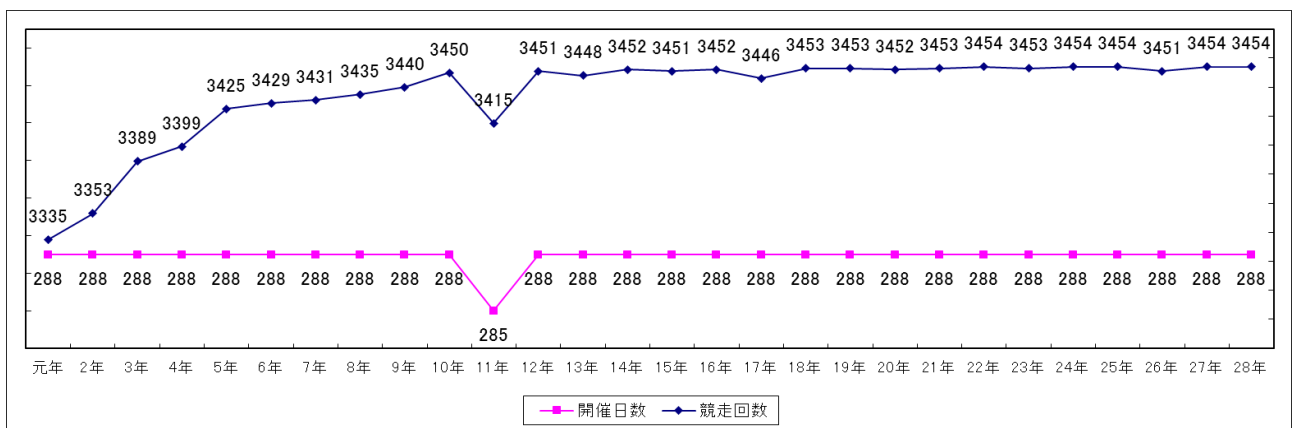
		対前年比	構成比(前年)
発売金総額 (内訳)	2 兆 6,884 億 4,951 万 8,700 円	103.9%	—
開催場における自場分	890 億 6,371 万 4,000 円	96.9%	3.3%( 3.5%)
〃 他場分	564 億 9,469 万 300 円	98.1%	2.1%( 2.2%)
パークウインズ	1,376 億 8,558 万 3,000 円	95.0%	5.1%( 5.6%)
場外発売所	6,531 億 591 万 4,700 円	99.5%	24.3%(25.4%)
電話・インターネット投票(海外競馬除く)	1 兆 7,425 億 8,473 万 6,700 円	106.4%	64.8%(63.3%)
〃 (海外競馬)	95 億 1,488 万 円	—	0.4%( — )

- ・ 海外競馬を除いた発売金は 2 兆 6,789 億 3,463 万 8,700 円（対前年比 103.5%）。
- ・ 10 競馬場、40 場外発売所（盛岡・水沢・佐賀の地方競馬場含む）及び電話・インターネット投票において勝馬投票券発売業務を実施。なお、ウインズ八幡は 12 月 27 日に営業を終了。
- ・ ウインズ浦和・ウインズ川崎・ウインズ三本木を含む 48 地方競馬施設に勝馬投票券発売業務を委託（J－P L A C E 鳥取岩美は 3 月 5 日に、J－P L A C E 福山駅前・柳津は 7 月 30 日にそれぞれ発売開始）。
- ・ 中央競馬の発売金（海外競馬及び W I N 5 を除く）に占める重賞競走の割合は 31.0%（前年実績 30.6%）、G I 競走の割合は 14.6%（前年実績 14.4%）。
- ・ G I 競走の発売金は対前年比 105.1%となり、前年実績を上回った競走は、全 22 競走中 15 競走。
- ・ 海外競馬の発売を 7 競走で実施。

【別表 3】開催回数の推移（平成元年以降）

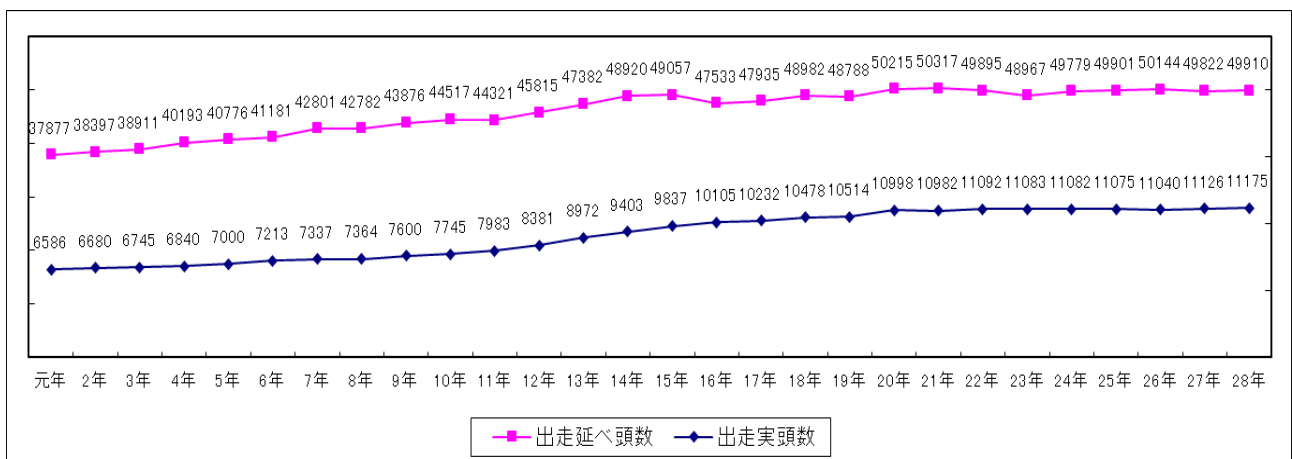


【別表 4】開催日数及び競走回数の推移（平成元年以降）

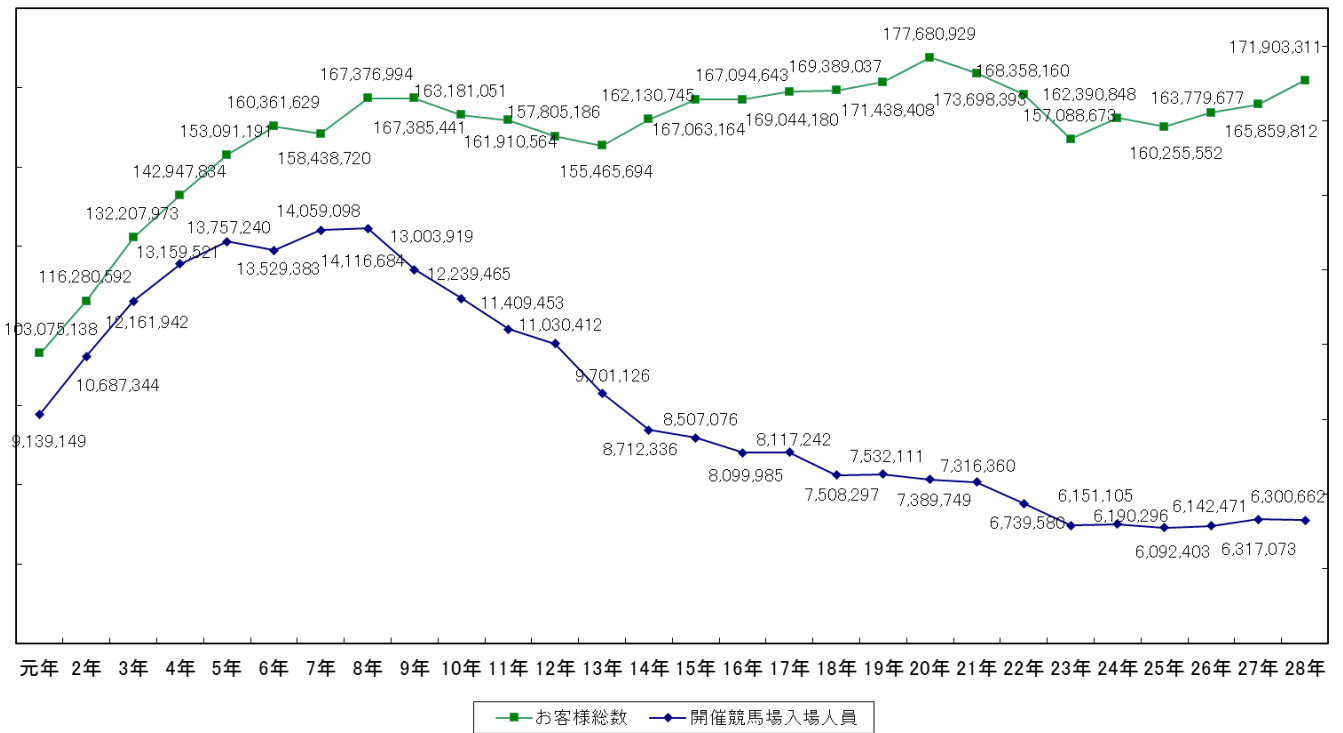


注）平成 11 年：厩務員春闘の影響により 3 回中山第 3 日、2 回阪神第 3 日、2 回中京第 3 日を取止め

【別表 5】出走頭数の推移（平成元年以降）

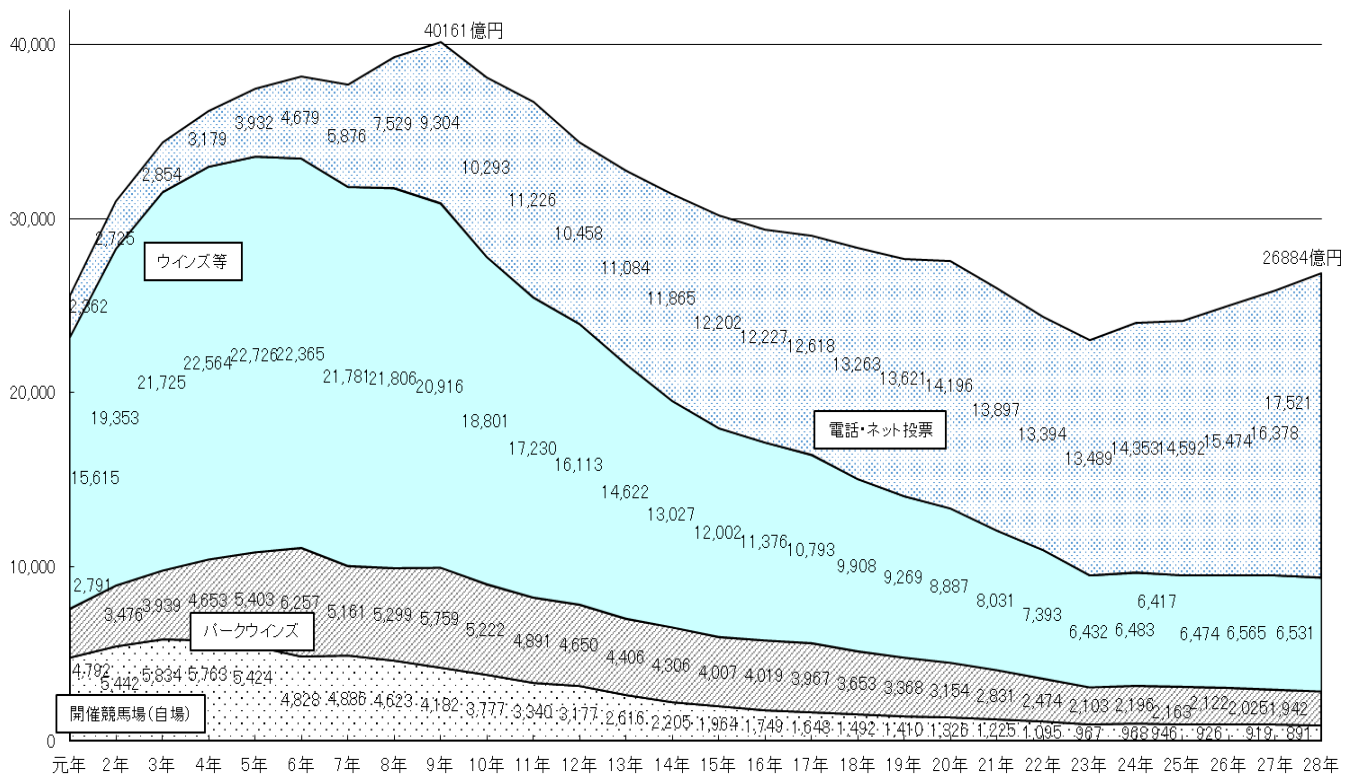


【別表 6】お客様総数及び開催競馬場入場人員の推移

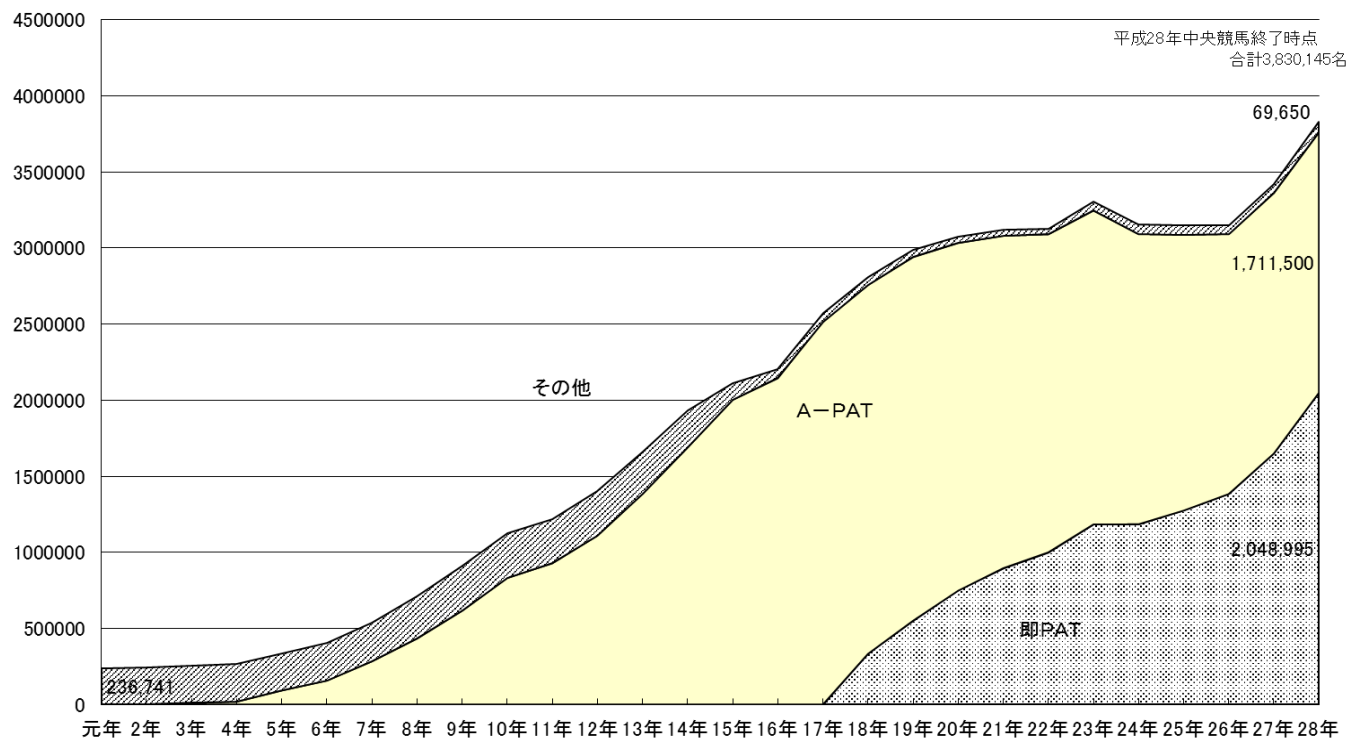


【別表 7】発売金の推移

○ 発売金の推移(単位:億円)



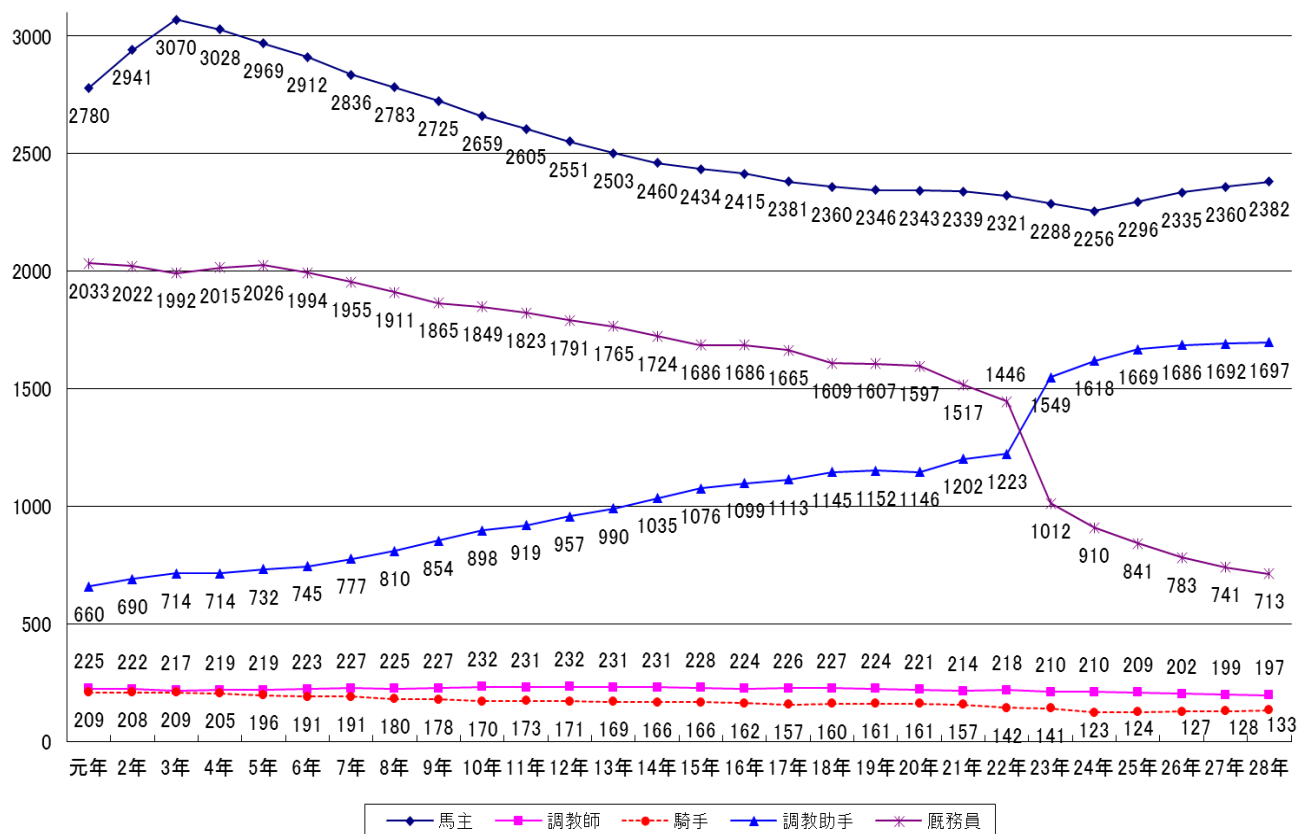
【別表 8】 電話・インターネット投票会員数の推移（平成元年以降）



【別表 9】 投票法毎の発売金の構成比（％）の推移（平成元年以降）

	単勝	複勝	枠連	馬連	ワイド	馬単	3連複	3連単	WIN5
平成元年	2.8	2.2	94.9	-	-	-	-	-	-
2年	2.8	2.2	95.0	-	-	-	-	-	-
3年	2.9	2.3	81.3	13.5	-	-	-	-	-
4年	2.7	2.3	35.4	59.6	-	-	-	-	-
5年	2.8	2.5	26.6	68.1	-	-	-	-	-
6年	2.7	2.6	22.9	71.8	-	-	-	-	-
7年	2.6	2.6	19.9	74.9	-	-	-	-	-
8年	2.6	2.6	17.8	77.0	-	-	-	-	-
9年	2.8	2.8	16.4	78.0	-	-	-	-	-
10年	3.1	2.9	15.1	78.9	-	-	-	-	-
11年	3.1	3.0	12.9	79.3	1.7	-	-	-	-
12年	3.0	2.4	10.9	70.5	13.2	-	-	-	-
13年	3.1	2.4	9.9	70.4	14.2	-	-	-	-
14年	2.8	2.4	8.3	54.7	10.8	10.9	10.1	-	-
15年	2.7	2.5	6.4	34.2	5.8	24.1	24.3	-	-
16年	2.9	2.7	5.8	28.2	4.9	22.0	25.5	8.0	-
17年	3.1	3.3	4.7	21.1	4.2	17.2	19.3	27.1	-
18年	3.4	4.0	4.8	19.6	4.4	15.7	19.4	28.7	-
19年	3.8	4.2	4.6	18.6	4.4	14.5	20.1	29.8	-
20年	3.7	5.1	4.3	17.1	4.3	12.4	19.2	33.9	-
21年	3.9	5.9	4.0	15.6	4.5	10.4	18.0	37.7	-
22年	4.2	6.4	3.8	15.1	4.8	9.8	18.7	37.3	-
23年	4.5	7.2	3.5	14.3	5.1	9.1	18.1	36.2	2.0
24年	4.7	7.6	3.6	13.9	5.4	8.7	18.2	35.8	2.1
25年	5.0	8.3	3.5	13.6	5.5	8.5	18.2	35.6	1.8
26年	5.3	8.6	3.5	14.3	6.0	7.9	18.6	34.2	1.5
27年	5.5	7.7	3.6	15.1	6.8	7.6	19.6	32.7	1.4
28年	5.6	8.1	3.4	14.5	7.2	7.2	19.9	32.8	1.3

【別表 10】馬主・調教師・騎手・調教助手・厩務員数の推移（平成元年以降）



【別表 11】国際競走等の状況

(1) J R A 所属馬の海外遠征状況

出走月日	開催国	競走名(グレード)	距離	馬名	性/馬齢	騎手名	調教師名	着順 / 出走頭数
3月26日	ドバイ	ドバイゴールドカップ(G2)	芝・3200m	ネオブラックダイヤ	8/牡	秋山 真一郎	鹿戸 雄一	8/11
3月26日	ドバイ	UAEダービー(G2)	ダート・1900m	ラニ	3/牡	武 豊	松永 幹夫	1/7
3月26日	ドバイ	UAEダービー(G2)	ダート・1900m	ユウチェンジ	3/牡	J. モレイラ	森 秀行	3/7
3月26日	ドバイ	UAEダービー(G2)	ダート・1900m	オンザロック	3/牡	M. デムーロ	森 秀行	5/7
3月26日	ドバイ	アルクオーツスプリント(G1)	芝・1000m	ベルカント	5/牝	武 豊	角田 晃一	12/13
3月26日	ドバイ	ドバイターフ(G1)	芝・1800m	リアルスティール	4/牡	R. ムーア	矢作 芳人	1/15
3月26日	ドバイ	ドバイシーマクラシック(G1)	芝・2410m	ドウラメンテ	4/牡	M. デムーロ	堀 宣行	2/9
3月26日	ドバイ	ドバイシーマクラシック(G1)	芝・2410m	ラストインパクト	6/牡	J. モレイラ	角居 勝彦	3/9
3月26日	ドバイ	ドバイシーマクラシック(G1)	芝・2410m	ワンアンドオンリー	5/牡	武 豊	橋口 慎介	5/9
3月26日	ドバイ	ドバイワールドカップ(G1)	ダート・2000m	ホッコータルマエ	7/牡	幸 英明	西浦 勝一	9/12
4月24日	香港	クイーンエリザベスII世カップ(G1)	芝・2000m	ラプリーディ	6/牡	J. モレイラ	池江 泰寿	4/13
4月24日	香港	クイーンエリザベスII世カップ(G1)	芝・2000m	ヌーヴォレコルト	5/牝	武 豊	斎藤 誠	6/13
4月24日	香港	クイーンエリザベスII世カップ(G1)	芝・2000m	サトノクラウン	4/牡	Z. パートン	堀 宣行	12/13
5月1日	香港	チャンピオンズマイル(G1)	芝・1600m	モーリス	5/牡	J. モレイラ	堀 宣行	1/12
5月7日	アメリカ	ケンタッキーダービー(G1)	ダート・2000m	ラニ	3/牡	武 豊	松永 幹夫	9/20
5月21日	アメリカ	ブリークネスステークス(G1)	ダート・1900m	ラニ	3/牡	武 豊	松永 幹夫	5/11
5月24日	フランス	イスバーン賞(G1)	芝・1800m	エイシンヒカリ	5/牡	武 豊	坂口 正則	1/9
5月25日	フランス	モントルトゥー賞(リステッド)	芝・1600m	エイシンエルヴィン	5/牡	C. デムーロ	中尾 秀正	1/10
6月11日	アメリカ	ベルモントステークス(G1)	ダート・2400m	ラニ	3/牡	武 豊	松永 幹夫	3/13
6月14日	イギリス	クイーンアンステークス(G1)	芝・1600m	エイシンエルヴィン	5/牡	C. デムーロ	中尾 秀正	10/13
6月15日	イギリス	プリンスオブウェールズステークス(G1)	芝・2000m	エイシンヒカリ	5/牡	武 豊	坂口 正則	6/6
9月11日	フランス	ニエル賞(G2)	芝・2400m	マカヒキ	3/牡	C. ルメール	友道 康夫	1/5
9月11日	韓国	コリアスプリント(韓国G1)	ダート・1200m	グレースブランデー	8/牡	吉原 寛人	安田 隆行	3/16
9月11日	韓国	コリアスプリント(韓国G1)	ダート・1200m	ミリオンヴォルツ	7/セン	藤井 勘一郎	高野 友和	5/16
9月11日	韓国	コリアカップ(韓国G1)	ダート・1800m	クリソライト	6/牡	藤井 勘一郎	音無 秀孝	1/16
9月11日	韓国	コリアカップ(韓国G1)	ダート・1800m	クリノスターオー	6/牡	幸 英明	高橋 義忠	2/16
10月2日	フランス	凱旋門賞(G1)	芝・2400m	マカヒキ	3/牡	C. ルメール	友道 康夫	14/16
11月1日	オーストラリア	メルボルンカップ(G1)	芝・3200m	カレンミロティック	8/セン	T. ベリー	平田 修	23/24
11月1日	オーストラリア	ジェームズボーンズプレミアムステークス(L)	芝・1800m	カレングラスジョー	6/牡	T. ベリー	平田 修	15/16
11月5日	アメリカ	ブリーダーズカップフィリー&メアターフ(G1)	芝・2000m	ヌーヴォレコルト	5/牝	武 豊	斎藤 誠	11/13
11月24日	アメリカ	レッドカーベットハンデキャップ(G3)	芝・2200m	ヌーヴォレコルト	5/牝	岩田 康誠	斎藤 誠	1/10
12月11日	香港	香港ヴァーズ(G1)	芝・2400m	サトノクラウン	4/牡	J. モレイラ	堀 宣行	1/14
12月11日	香港	香港ヴァーズ(G1)	芝・2400m	ヌーヴォレコルト	5/牝	岩田 康誠	斎藤 誠	4/14
12月11日	香港	香港ヴァーズ(G1)	芝・2400m	スマートレイアー	6/牝	武 豊	大久保 龍志	5/14
12月11日	香港	香港スプリント(G1)	芝・1200m	ビッグアーサー	5/牡	R. ムーア	藤岡 健一	10/13
12月11日	香港	香港スプリント(G1)	芝・1200m	レッドファルクス	5/牡	M. デムーロ	尾関 知人	12/13
12月11日	香港	香港マイル(G1)	芝・1600m	ロゴタイプ	6/牡	M. デムーロ	田中 剛	5/14
12月11日	香港	香港マイル(G1)	芝・1600m	サトノアラジン	5/牡	川田 将雅	池江 泰寿	7/14
12月11日	香港	香港マイル(G1)	芝・1600m	ネオリアリズム	5/牡	R. ムーア	堀 宣行	9/14
12月11日	香港	香港カップ(G1)	芝・2000m	モーリス	5/牡	R. ムーア	堀 宣行	1/12
12月11日	香港	香港カップ(G1)	芝・2000m	ステファノス	5/牡	C. スミヨン	藤原 英昭	3/12
12月11日	香港	香港カップ(G1)	芝・2000m	ラプリーディ	6/牡	H. ポウマン	池江 泰寿	4/12
12月11日	香港	香港カップ(G1)	芝・2000m	クイーンズリング	4/牝	M. デムーロ	吉村 圭司	9/12
12月11日	香港	香港カップ(G1)	芝・2000m	エイシンヒカリ	5/牡	武 豊	坂口 正則	10/12

(2) 外国馬の J R A 競走への出走状況

競走名	馬名	性	年齢	所属国	着順
安田記念(G I)	コンテンツメント	せん	6歳	香	12着
ジャパンカップ (G I)	イキートス	牡	4歳	独	7着
	ナイトフラワー	牝	4歳	独	12着
	イラプト	牡	4歳	仏	14着

## ◎ 特別振興事業について

## ① 競馬振興事業（平成 28 事業年度）

## 【J R A 直接実施事業】

事業名	事業内容	実施額
1. 競馬振興事業施設整備事業	過去に競馬振興事業で取得した施設の整備	11,674,800
2. キャッシュレス投票システム 開発事業	キャッシュレス投票の導入に向けたシステム開発	285,710,000
3. 競馬理解増進総合事業 (競馬場誘引型) (催事型) (メディア活用型) (馬事紹介型)	<ul style="list-style-type: none"> <li>競馬場への来場を誘引するための催事の実施</li> <li>競馬未経験層を主な対象としたキャンペーンや催事等の実施</li> <li>メディア等を用いた競馬未経験層への理解増進</li> <li>馬を活用した催事の実施</li> </ul>	2,123,850,149
4. 競馬・馬事文化紹介アニメ映像 制作事業	競馬・馬事文化を紹介するアニメ映像の制作	50,000,000
5. 国際競馬振興事業	国際競馬シリーズの運営、アジア競馬振興関連経費等	48,338,963
6. 地方競馬IPATシステム更新事業	地方競馬発売のための本会インターネット投票システムの更新	43,070,000
7. 海外競馬発売システム開発事業	海外競馬の勝馬投票券発売に向けたシステム開発	1,058,100,000
8. 海外競馬紹介事業	海外競馬に関する番組制作や情報提供等	151,147,194
9. 2020年東京オリンピック・パラ リンピック競技大会馬術競技開催 に向けたJRA馬事公苑整備事業	JRA馬事公苑諸施設の整備	12,241,694,726
合 計		16,013,585,832

## 【助成事業】

事業名	事業実施主体	事業内容	交付額
1. 国際馬術基盤強化推進支 援事業	(公社)日本馬術連盟	リオデジャネイロオリンピック出 場人馬の強化支援やF E I 公認国 際大会の開催支援等	144,000,000
2. 引退名馬繋養展示事業	(公財)ジャパン・ス タッドブック・イン ターナショナル	競馬の発展に貢献した名馬とのふ れあい創出、名馬の余生の環境作 り	63,058,000
3. 競走馬マイクロチップ埋 込推進事業	(公財)ジャパン・ス タッドブック・イン ターナショナル	マイクロチップ埋込に係る経費の一 部補助	18,000,000



4. 競馬技術交流促進事業	(公財) ジャパン・スタッドブック・インターナショナル	中国における馬産業の事情調査等	21, 000, 000
5. 海外への日本競馬情報発信事業	(公財) ジャパン・スタッドブック・インターナショナル	海外への映像提供、サイト等を通じた海外への日本の競馬情報発信等	94, 000, 000
6. 地方競馬との共同広報事業	特別区競馬組合	地方競馬主催者と共同で行う情報提供・広報宣伝	10, 143, 360
7. 地方競馬振興促進事業	各地方競馬主催者等	地方競馬場、発売施設の整備等	112, 162, 968
8. 競走馬理化学研究所における薬物検査体制の国際標準化事業	(公財) 競走馬理化学研究所	競走馬理化学研究所の薬物検査体制の国際標準化	535, 000, 000
合 計			997, 364, 328

## ②畜産振興事業（平成28事業年度）

事業名	事業実施主体	事業内容	交付決定額 (千円)
1. 堆肥施用による被災地の畑地・水田の地力回復等効果の持続性追跡調査事業	(一財) 畜産環境整備機構	東日本大震災被災地の耕種農家において、堆肥施用に対する不安が解消されず未だに堆肥利用が進んでいないことからその促進を図るため、天地返しを行った畑地への堆肥施用による地力回復及び放射性セシウム移行抑制効果の持続性について追跡調査を行い、効果の再確認及び実証を行う事業。	30, 064
2. 被災地畜産物に関する情報提供・理解醸成事業	(公財) 日本食肉消費総合センター 国立大学法人 東京大学 全国食肉事業協同組合連合会	東日本大震災の影響を受けた地域（以下、当該事業において「被災地」という。）の畜産物の消費回復を支援するため、首都圏におけるシンポジウムの開催、福島県の畜産業復興のための消費者意識全国調査、農業祭等における被災地産食肉の情報提供及び試食・販売支援等を実施し、被災地の畜産物に係る理解醸成等を図る事業。	74, 439
3. 被曝牛での多発疾患の原因究明に関する研究事業	国立大学法人 岩手大学	東京電力福島第一原子力発電所の放射性物質放出事故（以下、「原発事故」という。）に伴い被曝し、5年を経過した牛において白血病の疾患が目立ち始めていることから、被曝との関連を検討するとともに、原因の究明を行う事業。	23, 589
4. 乗馬等を通じた被災地支援（馬とのふれあい）事業	(公社) 全国乗馬倶楽部振興協会	被災地の馬事産業復興を支援するため、震災等の激甚災害で被災した学童や地域住民を対象とした馬を活用したふれあい活動等を行う事業。	19, 031

5. 耕起困難草地等利用再開技術確立調査事業	(一社) 日本草地畜産種子協会	原発事故の放射性物質汚染により利用自粛となった草地のうち、利用再開が遅れている放牧地や除染困難な耕起困難牧草地及び野草地といった条件不利草地について、利用再開の支障となっている課題解決のための技術を確立する事業。	63, 167
6. 女性向け養蜂具の調査研究事業	(一社) トウヨウミツバチ協会	養蜂業を女性の活躍する場として拡大していくため、女性向け小型軽量の巣箱の開発とミツバチ飼育の実証調査を行うとともに、連絡協議会を開催し、女性向け養蜂具の普及と女性養蜂家支援について意見交換を行う事業。	11, 746
7. 畜産物の汚染防止対策強化事業	国立大学法人 東京大学 国立大学法人 岐阜大学	畜産物の汚染防止対策を強化するため、食中毒の原因として重要なカンピロバクターについて、養鶏場での細菌叢動態の解明と汚染源・経路を特定し汚染防止法を開発するとともに、これまで有効な対策が講じられていない家畜の慢性感染症である豚の抗酸菌症と家畜のトキソプラズマ症について、両病原体の農場内外における循環と被害の因果関係を実証する事業。	55, 130
8. オリンピック・パラリンピック東京大会における食品テロ防止対策事業	公立大学法人 奈良県立医科大学	2020年オリンピック・パラリンピック東京大会において食品テロが発生した場合、深刻な影響を及ぼす恐れがあることから、食品を提供する事業者が行うべき食品テロ防止対策及びこれら事業者への指導支援を行う事業。	77, 541
9. 草牛の飼養管理マニュアル適応性実証調査研究事業	(一社) 全国肉用牛振興基金協会	高品質・低コストな国産自給飼料を利用した肉用牛生産への転換、肉用子牛の出荷月齢早期化等の推進のため、これまでに実施した事業において作成した飼養管理マニュアルの適応性等検証のための実証展示調査を実施するとともに、草牛(子牛・育成期段階で粗飼料(乾物重量)30%を給与した子牛)の生産地域農家群でのフィールド適応性調査等を実施する事業。	103, 811
10. 和牛CBS定着技術調査事業	(公社) 畜産技術協会	地域におけるキャトル・ブリーディング・ステーション等外部支援組織(以下、「CBS」という。)の普及定着を促進し飼育管理の軽労化を図るため、CBS運営に必要な管理技術等手引書の作成及び滞在型教育プログラムを実施する事業。	16, 620
11. 遺伝情報活用育種改良促進事業	(公社) 全国和牛登録協会 国立大学法人 京都大学	DNA情報を活用したより精度の高い効率的な種畜選抜の手法を検討するとともに、我が国で独自に開発されてきた有用な遺伝統計理論・技術を、将来に向けて持続発展的に活用可能な形態で整備することにより、遺伝情報を活用したゲノム育種を促進する事業。	95, 728

1 2. めん山羊の多様な利活用 推進・体制整備事業	(公社) 畜産技術協会	めん羊・山羊において、種畜導入が困難なことや知識不足の飼養管理等が課題となっていることから、めん羊・山羊の供給モデルを構築して流通促進を図るとともに、飼養管理技術の周知及び管理者育成を行う事業。	18, 140
1 3. 黒毛和牛の魅力創出技術 の構築事業	国立大学法人 神戸大学	和牛では比較的低需要部位にあたる赤身部分の肉質に及ぼす遺伝的形質である適度な脂肪交雑（微小サシ）に着目し、黒毛和牛の赤身に高頻度で生じる微小サシの測定技術の構築を進め、国産畜産物の輸出戦略に沿って神戸とサンフランシスコにおいて、事業成果のPRを行う事業。	3, 646
1 4. 放牧技術活用推進事業	(公財) 農村更生協会 (一社) 日本草地畜産 種子協会	放牧技術を活用した酪農の維持・発展及び畜産物の高付加価値化を図るため、移動式搾乳機による放牧転換技術の実用展開のために必要な実証や改善を行うとともに、放牧畜産基準認証制度を利用した放牧畜産物の6次産業化や放牧及び放牧畜産物の消費者への理解醸成と啓発等を行う事業。	150, 567
1 5. 先進技術立脚型酪農経営 支援事業	乳用牛群検定全国協議 会	近年我が国でも普及が進んでいる搾乳ロボットによって、牛の観察不足による繁殖悪化等が懸念されることから、搾乳ロボットの適切な飼養管理マニュアルを作成するとともに、粗飼料と濃厚飼料等を混合して給与飼料として調整する地域組織（TMRセンター）と連携し、毎日の泌乳データの飼料設計への反映実証を行う事業。	71, 275
1 6. 飼料稲給与畜産物認証基 準作成事業	(一社) 日本草地畜産 種子協会	国産飼料に立脚した畜産への転換を推進するため、飼料稲（飼料用米及び稲WC S）を給与して生産された畜産物の認証を行い、飼料稲給与畜産物の高付加価値化と消費拡大等により飼料稲の普及を図る事業。	20, 333
1 7. 持続的な畜産経営確立の ための環境対策等調査事業	(一財) 畜産環境整備 機構	持続的で安定的な畜産経営を確立するため、畜産排水の規制強化に対応した高能率処理施設等の導入とその活用、設備投資の軽減を図るための中古機械の活用とその耐用年数の延長等に関する先進事例調査・分析等を行い、これら機械・施設等の導入への不安解消・利用延長に資する事業。	76, 190
1 8. 不受胎牛の早期判別と分 娩間隔短縮事業	国立大学法人 東京大 学	繁殖牛とくに乳用牛の分娩間隔の延長による生産性の低下があることから、分娩間隔短縮のために不受胎牛の早期発見法の開発を行う事業。	71, 100

19. 馬防疫強化対策事業	(一財) 日本生物科学研究所 (公社) 全国乗馬倶楽部振興協会 (公社) 中央畜産会	馬の感染症等の防疫対策の強化を目的として、馬動脈炎ウイルス検査に有用なタンパク質抗原の産業利用体制の確立、馬インフルエンザ等の伝染性疾病のワクチン予防接種の推進、多様化している馬の飼養衛生管理に必要な感染症の知識習得や衛生管理に関する実態調査等を行う事業。	224,368
20. 引退馬を快適で健康的に飼養するための事業	国立大学法人 鹿児島大学	競馬や乗馬に貢献した引退馬をより快適で健康的に飼養するため、飼養状況、健康状態及び防疫状況を調査し、適切な飼養管理法及び防疫指導を行うとともに、引退馬の各種生理基準値を明らかにする事業。	14,132
21. 家畜疾病の防疫体制強化促進事業	(公社) 日本獣医師会 (公社) 中央畜産会 国立大学法人 岩手大学	家畜疾病の防疫体制を強化するため、アジア諸国で家畜の診療防疫業務に従事する臨床獣医師の臨床実習、豚流行性下痢再発防止のための重点的な防疫措置、国において見直し予定の「飼養衛生管理基準」施行後の迅速かつ的確な普及啓発、牛白血病清浄化のための高度感染牛の感染拡大防止及び集中管理による発症リスク評価等の解明や低度感染牛と非感染牛のみの農場における防除対策徹底による感染伝播リスクと農場の経済性評価等を実施する事業。	755,660
22. 飼料の品質改善対策事業	(一社) 日本科学飼料協会	飼料用米の利用促進及び飼料自給率の向上のため、国内で流通している配合飼料に用いられている又は今後利用が想定される飼料用米について、その成分組成及び家畜・家禽における栄養価を測定する事業。	27,051
23. 酪農経営支援組織経営向上推進事業	(一社) 酪農ヘルパー全国協会	酪農経営を支える酪農ヘルパーの安定的な人材確保とその定着化のため、ヘルパー利用組合の経営向上に資する情報の調査及び提供を行うとともに、経営者等に対して経営セミナー等を通じた情報提供を行う事業。	12,173
24. 腰補助用装置導入モデル検証事業	福島県酪農業協同組合	持続的な酪農経営の実現を図るため、腰補助用装置を酪農家の搾乳作業に導入し、作業従事者の身体的負担の低減効果を検証・調査する事業。	3,451
25. 馬能力検定体系化等推進事業	(公社) 日本馬事協会	将来に向け体系化された馬能力評価法の確立を目指し、BLUP法アニマルモデルを活用した能力評価手法を有効に活用していくため、検定員の養成・確保のための研修会の開催を行うとともに、牽引能力、肥育能力の評価手法の調査検討、馬能力検定システムの開発及び公表を行う事業。	30,319

26. 肉用牛の生産性向上支援 技術開発モデル事業	(一社) 家畜改良事業 団	生産性と品質の高い合理的な肉用牛生産 を構築していくため、遺伝的能力や子牛 生産の目的等を総合的に加味し、最適な 種雄牛を選択する交配牛選定システムを 開発するとともに、優良繁殖牛群整備の 実証を行う事業。	48,863
27. 牛繁殖成績向上事業	(一社) 日本家畜人工 授精師協会	家畜人工授精現場技術者の意識及び技術 向上と優良技術共有のため、過去の受胎 率向上対策事業の対象になった一部地域 で、顕著な受胎率成績の向上が見られた ことからその要因を調査し分析するとと もに、優良技術発表会を主催し、特に優 れた技術について、分析結果とともに取 りまとめ、繁殖成績向上のための優良技 術集として配布する事業。	2,939
28. 乳母豚を利用した子豚管 理技術開発事業	学校法人 麻布獣医学 園・麻布大学	多産系母豚群の能力を最大限に生かす補 助技術として、非妊娠豚を用いた人為的 泌乳制御モデル(乳母豚)を応用した新 しい子豚の飼養管理技術の開発を行う事 業。	13,200
29. 銃による野生シカ捕獲に おける肉質改善事業	(一社) エゾシカ協会	鳥獣被害防止の観点から捕獲されたエゾ シカを食肉として活用するため、銃によ るエゾシカ捕獲の際の狙撃部位の違いや 銃の口径の違いが捕獲個体の肉質や味覚 に及ぼす影響を明らかにするとともに、 シカ肉生産マニュアルを作成する事業。	3,515
30. 地鶏銘柄鶏振興緊急対策 事業	(一社) 日本食鳥協会	地鶏銘柄鶏の振興を目的として、生産者 間の連携強化による安定的出荷体制の確 立、高品質鶏としての特性の科学的解 明、需用者との情報交換の緊密化及び調 理方法の提案・普及など総合的な地鶏銘 牌鶏の振興を図る事業。	66,557
31. 牛受胎能力向上技術開発 事業	(一社) 家畜改良事業 団	乳・肉用牛の受胎率改善及び生産性向上 のため、種雄牛の受胎性に関連する因子 の遺伝子検査や活性測定等による種雄牛 の繁殖性推定法を確立するとともに、受 胎性を向上させる有効物質開発に応用で きる遺伝子産物等の有効性の検証を行う 事業。	51,837
32. 南部駒によるシバ草原の 再生等に関する研究事業	公立大学法人 岩手県 立大学	南部駒の維持と安比シバ草原の再生保全 のため、南部駒の放牧実験を行い植生調 査等で効果の測定や南部駒飼養者の飼養 に係る実態及び放牧意向についてアンケ ート調査を行うとともに、南部駒と安比 シバ草原等を活用したホーストレッキン グについての可能性の検討及びホースト レッキングガイドの育成を行う事業。	5,331
33. ノゼマ病予防混合飼料実 証事業	学校法人 京都産業大 学	世界的な蜜蜂不足の原因の一つとされて いるノゼマ微胞子虫による疾病(通称ノ ゼマ病)を予防するため、口蹄疫等への 抗ウイルス作用を示し、ノゼマ微胞子虫 への抑制効果も示しているカシス果実抽 出物を用いた粉末混合飼料の使用に向け た基盤試験を行う事業。	11,305

34. 子牛生産性向上推進事業	(一社) 家畜改良事業団	乳・肉用種の子牛生産性向上のため、生産性低下を引き起こすおそれのある新たな原因遺伝子の効率的検査法の開発、生産現場での先天性異常情報収集及び遺伝子解析を実施し、既存の遺伝子不良と併せて国内種畜等の検査を行い生産性への影響を確認するとともに、得られた知見を遺伝的不良形質専門委員会へ情報提供する事業。	90,470
35. バイオマーカー解析技術を活用した肉用牛枝肉形質の生体評価手法の確立事業	学校法人 近畿大学	肉用牛の生産性向上と肥育農家経営の安定化を図るため、バイオマーカー（生体由来物質）タンパク質を利用した肥育期間中に肉用牛の枝肉形質を生体評価する手法を確立する事業。	78,744
36. 熊本地震被災牧野復旧実証事業	(公社) 熊本県畜産協会	熊本地震により被害を受けた採草放牧地（「被災牧野」という。）について低廉かつ迅速な復旧を図るため、コスト低減に着目した復旧技術に関する計画を策定し、その技術の実証と普及により、地域の肉用牛及び酪農の生産基盤を回復する事業。	91,973
小 計			2,514,005

(注) 上記の各事業は、(公財) 全国競馬・畜産振興会を通じて実施するものである。

事業名	事業実施主体	事業内容	実績額 (千円)
畜産振興事業附帯事業	本会	学識経験者からなる審査委員会を設置し、新規事業を選定するとともに、特定法人において助成金交付業務を行う。また、学識経験者からなる評価委員会を設置し、事業評価を行う。	53,096
小 計			53,096
総 計			2,567,101

## J R A 賞 受賞馬及び受賞者

## 1. 競走馬部門

	受賞馬	(馬主)	(厩舎)
年度代表馬	キタサンブラック	(有) 大野商事	栗東・清水 久詞 厩舎
最優秀 2 歳牡馬	サトノアレス	里見 治 氏	美浦・藤沢 和雄 厩舎
最優秀 2 歳牝馬	ソウルスターリング	(有) 社台レースホース	美浦・藤沢 和雄 厩舎
最優秀 3 歳牡馬	サトノダイヤモンド	里見 治 氏	栗東・池江 泰寿 厩舎
最優秀 3 歳牝馬	シンハライト	(有) キャロットファーム	栗東・石坂 正 厩舎
最優秀 4 歳以上牡馬	キタサンブラック	(有) 大野商事	栗東・清水 久詞 厩舎
最優秀 4 歳以上牝馬	マリアライト	(有) キャロットファーム	美浦・久保田貴士 厩舎
最優秀短距離馬	ミッキーアイル	野田 みづき 氏	栗東・音無 秀孝 厩舎
最優秀ダートホース	サウンドトゥルー	山田 弘 氏	美浦・高木 登 厩舎
最優秀障害馬	オジュウチョウサン	(株) チョウサン	美浦・和田正一郎 厩舎
特別賞	モーリス	吉田 和美 氏	美浦・堀 宣行 厩舎

## 2. 調教師・騎手部門

## ①調教師部門

最多勝利調教師	矢作 芳人 (栗東)
最高勝率調教師	堀 宣行 (美浦)
最多賞金獲得調教師	堀 宣行 (美浦)
優秀技術調教師	堀 宣行 (美浦)

## ②騎手部門

最多勝利騎手	戸崎 圭太 (美浦)
最高勝率騎手	C. ルメール (栗東)
最多賞金獲得騎手	C. ルメール (栗東)
MV J	戸崎 圭太 (美浦)
最多勝利障害騎手	石神 深一 (美浦)
最多勝利新人騎手	木幡 巧也 (美浦)
特別賞	熊沢 重文 (栗東)